

# 2015

## 近畿双松会報

— 2015(平成27)年度 —

島根県立松江中学校

島根県立松江高等学校

島根県立松江北高等学校





# 2015(平成27)年度 近畿双松会報

## 目次

|   |    |
|---|----|
| 2015(平成27)年度 近畿双松会「総会 講演会 懇親会」次第                  | 2  |
| 2015(平成27)年度 「新年役員会」「総会 講演会 懇親会」報告                | 3  |
| 総会議事(1) 近畿双松会 活動事業報告                              | 5  |
| 総会議事(2) 近畿双松会 会計・監査報告                             | 6  |
| 総会報告 2015(平成27)年度 近畿双松会役員                         | 7  |
| 総会・講演会・懇親会 出席者名簿                                  | 8  |
| ご挨拶   | 12 |
| 開会ご挨拶：近畿双松会会長 松本 耕司 (16)                          |    |
| 来賓ご挨拶：双松会副会長 勝部 昌幸 (21)                           |    |
| 松江北高校校長 泉 雄二郎 (26・理5)                             |    |
| 2015(平成27)年度 松江北高十大ニュース(日付順)                      | 16 |
| 総会・講演会・懇親会 写真                                     | 18 |
| 記念集合写真／期別テーブル写真／懇親会スナップ写真                         |    |
| 講演抄録  | 22 |
| 「松江城国宝指定と今後のまちづくり」                                |    |
| 講師：松江市教育長 清水 伸夫 (20)                              |    |
| 2015(平成27)年度 「運営費支援、寄付・広告」ご協力者ご芳名                 | 24 |
| 追悼 物故会員   | 26 |
| 会員の著書紹介   | 27 |
| 2015(平成27)年度 諸行事報告                                | 28 |
| ■第8回 落語鑑賞会 ■第35回 ゴルフコンペ ■第10回 文楽鑑賞会 ■インターハイ陸上競技応援 |    |
| ■第10回 歴史ウォーキング ■第5回「里山歩くぞ！」ハイキング… ■第36回 ゴルフコンペ    |    |
| 2016(平成28)年度 事務局会議、役員会                            | 31 |
| ■事務局会議(兼)有志新年懇親会 ■近畿双松会役員会(兼)新年懇親会                |    |
| 同期会便り   | 32 |
| ■11期 卒業55周年記念同窓会(全国) ■16期 近畿地区同期会 ■22期 関西同窓会「新年会」 |    |
| 会員近況報告  | 34 |
| 自由投稿  |    |
| 「修学旅行」1954(昭和29)年 森岡 敏真 (6)                       | 42 |
| 「“赤レンガ”と私」 佐和田 丸 (10)                             | 44 |
| 編集後記  | 47 |

# 2015(平成27)年度 近畿双松会「総会 講演会 懇親会」次第

2015年11月29日(日) 正午～午後3時半(受付開始11時半)  
於：中央電気倶楽部 5Fホール

---

◆ 第一部 「平成27年度総会」(正午～12時35分) 司会：三好 資子 副会長(20)

---

1. 開会の辞：
2. 物故者黙祷：
3. ご挨拶： 近畿双松会 松本 耕司 会長(16)
4. 来賓ご挨拶： 双松会 勝部 昌幸 副会長(21)  
島根県立松江北高等学校 泉 雄二郎 校長(26・理5)
5. 議長の選任：
6. 議事： (1) 活動報告(スライド)：渡辺悟事務局長(20)  
(2) 会計報告・監査報告：渡辺事務局長、梅木隆志監事(16)  
(報告) 役員の異動：渡辺事務局長
7. 閉会の辞：

---

◆ 第二部 「講演会」(12時35分～13時20分) 司会：渡辺 悟 事務局長

---

【演題】：「松江城国宝指定と今後のまちづくり」

【講師】：清水 伸夫 氏(20・松江市教育長)

<講師紹介> 昭和48年慶応大卒、同年松江市採用。水道部長、総務部長、市長室長、  
交通局長などを経て平成25年5月から現職。

<休憩(10分)>

---

◆ 第三部 「懇親会」(13時半～15時半頃) 司会：松本 潤 副会長(23)

---

1. 開会の辞：
2. ご来賓紹介：  
勝部 昌幸 様(双松会副会長) 金平 憲 様(16・同幹事長)  
泉 雄二郎 様(松江北高校校長) 鳥屋尾 浩 様(25・同教諭・双松会校内幹事長)  
清水 伸夫 様(講師・松江市教育長) 竹谷 奨 様(近畿松江会幹事長)  
学生ゲスト各位
3. 乾杯：(音頭)双松会 金平 憲 幹事長
4. 会食・懇親：  
(スピーチ) 学生ゲスト6名と鳥屋尾 浩教諭、兼清久子様(2)、石原綾子様(6)、清原正義様(16)  
(途中・随時) 記念写真撮影：土田和男常任幹事(16)ほか
5. 校歌斉唱： ※赤山健児の歌 ※山脈浮かびて(全曲)
6. 万歳三唱： 田村稔久様(6)
7. 閉会の辞：

<全終了(解散)：16時>

## ■ 2015(平成27)年度 近畿双松会「新年役員会」報告

日時／平成27年1月24日(土)11時～  
会場／中央電気倶楽部

会則第8条に従い、17名の役員が参加して恒例の新年役員会を開催、本年度の運営方針について意見交換し、了承しました。

・主な内容：

- ① 松本耕司新会長(16)の所信挨拶。
- ② 各期ごとの活性化への取り組み策。
- ③ 55周年事業以降の収支バランスの回復が不十分なことから、支出の改善策。
- ④ 新体制下での事務局業務の再構築。
- ⑤ 本年度の総会・懇親会を11月29日(日)に中央電気倶楽部で開催。

## ■参加役員は次のとおりです。(敬称略)

【常任顧問】山本雅昭(7)・押田良樹(11)【会長】松本耕司(16)【副会長・事務局長】渡辺悟(20)【副会長】三好資子(20)【監事】梅木隆志(16)【常任幹事】金坂喜好(15)・岩田一志(19)・山寄麻里子(20)・富岡幸子(35)【幹事】久保田幸雄(2)・田村稔久(6)・山崎昶(8)・清水良子(9)・萩野貫悟(12)・岡久夫(17)・池田喜美代(19) 以上17名

## ■ 2015(平成27)年度 「総会・講演会・懇親会」報告

日時／平成27年11月29日(日)正午～15時半  
会場／中央電気倶楽部5Fホール

総会を祝うかのような快晴に恵まれ、定番となったレトロな雰囲気一杯の中央電気倶楽部で、今年もご来賓や学生ゲスト(65・66期)を含む113名もの多数のご出席をいただき、盛大に平成27年度の総会・講演会・懇親会を行いました。(参加者名簿別掲)

### (1)第一部：2015(平成27)年度総会

(以下、式次第参照)

総会では三好資子副会長(20)の司会で始まり、松本耕司会長(16)の開会挨拶に続き、勝部昌幸双松会副会長(21)、泉雄二郎松江北高校校長(26)から、それぞれご来賓の祝辞をいただきました。また、お二人からは来年度が創立140周年であることから11月12日(土)に予定される記念式典、懇親会への参加要請と、140周年記念事業として企画される「世界の人たれ北高基金」への協力要請もいただきました。(ご挨拶の詳細は別掲)

総会議事は、松本耕司会長(16)が議長となって、活動報告、会計・監査報告、役員の変動報告がなされ、それぞれ満場一致で承認されました。(各報告書の詳細は別掲)

### (2)第二部：講演会

本年度は、松江城天守の国宝指定を記念し、清水伸夫(20)松江市教育長に「松江城国宝指定と今後のまちづくり」と題して、同期の渡辺事務局長(20)のご紹介の後、講演をいただきました。(講演抄録は別掲)

国宝指定に至るご苦勞と、内部にいらっしやった立場ならではの講演内容に大変満足したひとときとなりました。



### (3) 第三部：懇親会

第三部は松本潤副会長(23)の司会の下、あらためてご来賓を拍手でお迎えした後、双松会金平憲幹事長(16)のご発声で「乾杯」しスタートしました。

歓談も佳境に入った頃、本年度の学生ゲスト(65・66)6人の皆さんに壇上に上がっていただき、フレッシュな自己紹介に、皆で歓迎の大拍手を送りました。双松会校内幹事長の鳥屋尾浩先生(25)からは、恒例となった担任の先生から預かってきていただいた激励のメッセージが一人一人に手渡されました。毎年のことながら学生の皆さんの嬉しいような恥ずかしいような笑顔がとても印象的でした。また、66期の大北祥之さんは石橋町の千手院の後継者で高野山大学に入学して修行中の身であることや、鳥屋尾先生はあの小泉八雲でも有名な石橋町の児守稲荷の宮司さんであることなど、いかにも松江らしい話題に場内が沸きました。



飛び入りのスピーチは、堺市での歴史ウォーキングの際に堺市側のボランティアガイドとして偶然お会いしたことがご縁でご参加いただいた石原綾子さん(6)、ご多用の中を初参加いただいた現職の兵庫県立大学の学長の清原正義さん(16)にお願いしました。

また、昨年の田端要子さん(1)に続き、兼清久子さん(2)が久しぶりにご参加されましたので、兼清さんに女性大先輩としてのスピーチをいただきました。当時の松高女子生徒の学校生活を楽



しように語られた兼清さんのスピーチに、皆、心ほのぼのとなる思いを味わいました。

全員参加の校歌斉唱で盛り上がった後の万歳三唱のご発声は、いつも近畿双松会の運営にご助言を



いただいている田村稔久幹事(6)にお願いし、当意即妙のご挨拶の後、来年の再会を期して力強い万歳三唱をし、無事、盛況裡にお開きとなりました。

なお、今年から、全員参加の集合写真は何組かに分けるのではなく、高所からのアングルで100名超の一枚写真(18P参照)に挑戦しました。もう少し全員の立ち位置を計画的に考えれば、来年は素晴らしい全員一枚の記念写真が撮れることでしょう。

以上

■総会・講演会・懇親会を支えていただいた皆さんを下記に紹介し、御礼に替えます。(敬称略)

○総括：渡辺悟(20) ○第一部司会：三好資子(20)  
○第二部司会：渡辺悟 ○第三部司会：松本潤(23)、  
補佐 山寄麻里子(20)・富岡幸子(35) ○中央電気  
倶楽部担当：松本潤 ○受付・会計：池田喜美代(19)、  
三好資子・山寄麻里子・物種慶子(20)、新宮富美子・  
木田京子(27)、野津さとみ(29) 藤本斉子(32) 富岡  
幸子 ○会場設営・案内：梅木隆志・三成宏二(16)、  
岡久夫(17)、小田一美(18)、岩田一志(19) ○来賓  
担当：松本耕司(16)、渡辺悟 ○スライド制作：押  
田良樹(11) ○映像音響・録音・照明：宍道弘志(31)、  
新宮富美子、浅沼吉正(32) ○カメラ：土田和男(16)、  
村田貢(22)、宍道弘志、浅沼吉正、安達宏昭(43)  
○書籍販売：大浦綾子・大浜緑・木山洋子(22)

## 総会議事(1) 近畿双松会 活動事業報告

### 2014(平成26)年度

|     |        |                                       |
|-----|--------|---------------------------------------|
| 4月  | 1日(火)  | 平成26年度事業・会計開始                         |
|     | 2日(水)  | 事務局会議開催(新年度事業計画検討)                    |
|     | 5日(土)  | 第7回落語鑑賞会(毎日新聞社和室・参加18名)               |
|     | 20日(日) | 平成26年度事業計画ならびに設立55周年「記念会報」の発送         |
| 5月  | 29日(木) | 第34回ゴルフ懇親会(参加11名、於:武庫ノ台CC)            |
| 7月  | 20日(日) | 第9回文楽鑑賞会(参加29名、於:国立文楽劇場)              |
|     | 26日(土) | 事務局会議開催(総会骨子検討)                       |
| 9月  | 28日(日) | 第9回歴史ウォーキング in 姫路“軍師官兵衛”(参加23名)       |
| 10月 | 2日(木)  | 平成26年度総会懇親会の案内を発送                     |
|     | 19日(日) | 第4回里山歩くぞハイキング in 奈良“白毫寺~円照寺”(参加19名)   |
| 11月 | 30日(日) | 事務局会議開催(総会懇親会最終打ち合わせ)                 |
|     | ” ”    | 会計決算書監査(平成25年10月~平成26年9月)             |
| 12月 | 7日(日)  | 平成26年度「総会・講演会・懇親会」                    |
|     |        | 於:中央電気倶楽部、参加者はゲストを含め112名              |
|     |        | 講演は宮崎尚子氏、尚綱大学助教。                      |
|     |        | 演題は『川端康成の茨木中学校時代の恩師「倉崎仁一郎(松江中7期)」の真実』 |
|     | ” ”    | 平成26年度「会報」の編集開始                       |
| 1月  | 10日(土) | 事務局会議 & 有志新年会開催(新年度役員懇親会準備)(参加23名)    |
|     | 24日(土) | 平成27年度新年役員懇親会(参加17名)                  |
|     |        | (主として新年度以降の収支を中心とした運営方針を審議)           |
| 3月  | 15日(日) | 事務局会議開催(新年度事業・収支計画検討)                 |
|     | 22日(日) | 第8回落語鑑賞会(トリイホール・参加25名)                |
|     | 31日(火) | 平成26年度会報の発行                           |
|     | ” ”    | 平成26年会計年度終了                           |

### 2015(平成27)年度

|     |        |   |
|-----|--------|---|
| 4月  | 1日(水)  | 平成27年度事業・会計開始                             |
|     | 11日(土) | 平成27年度事業計画ならびに平成26年度会報の発送                 |
| 6月  | 11日(木) | 第35回ゴルフ懇親会(参加22名、於:武庫ノ台CC)                |
| 7月  | 19日(日) | 第10回文楽鑑賞会(参加27名、於:国立文楽劇場)                 |
| 8月  | 29日(日) | 事務局会議開催(総会懇親会骨子検討)                        |
| 9月  | 13日(日) | 平成27年度総会懇親会の案内を発送                         |
| 10月 | 4日(日)  | 第10回歴史ウォーキング in 堺 “利休と晶子”(参加30名)          |
|     | 17日(土) | 東京双松会60周年記念総会(松本会長表敬出席)                   |
| 11月 | 8日(日)  | 第5回里山歩くぞハイキング in 箕面 “箕面の滝”(参加予定21名)       |
|     |        | ◆雨のため中止(内、11名が雨の箕面をハイキング)                 |
|     | 23日(月) | 事務局会議開催(総会懇親会最終打ち合わせ)                     |
|     | ” ”    | 会計決算書監査(平成27年4月~9月)                       |
|     | 29日(日) | 平成27年度「総会・講演会・懇親会」                        |
|     |        | 於:中央電気倶楽部、参加者はゲストを含め113名                  |
|     |        | 講演は清水伸夫氏(20) 松江市教育長 演題は「松江城国宝指定と今後のまちづくり」 |
|     | ” ”    | 平成27年度「会報」の編集開始                           |
| 1月  | 11日(月) | 事務局会議 & 有志新年会開催(新年度役員懇親会準備)(参加18名)        |
|     | 30日(土) | 平成27年度新年役員懇親会(新年度方針確認)(参加15名)             |
| 3月  | 19日(土) | 第9回落語鑑賞会(トリイホール)                          |
|     | 26日(土) | (予定)事務局会議開催(新年度事業・収支計画検討)                 |
|     | 31日(木) | 平成27年度会報の発行                               |
|     | ” ”    | 平成27年会計年度終了                               |

2016.3.15 現在 HPアクセス累計 30,963 件

## 総会議事(2) 近畿双松会 会計・監査報告

2014(平成26)年度 (2014年4月1日～2015年3月31日)

(単位：円)

| 収入の部                    | 支出の部                     |
|-------------------------|--------------------------|
| ◎ 前期繰越金 1,795,708       | ◎ 支出計 2,347,758          |
| ◎ 収入計 2,057,752         | ・ 通信費 308,552            |
| ・ H26年度運営費支援収入 717,000  | ・ 印刷費 167,724            |
| ・ 同、寄付・広告収入 285,000     | ・ 事務費 118,226            |
| ・ 同、総会懇親会参加費 719,000    | ・ 郵便、銀行手数料等 28,638       |
| ・ H26年度諸行事参加費収入 288,050 | ・ H26年度総会懇親会費 823,371    |
| ・ H27年度役員会会費収入 48,000   | ・ H25年度55周年記念会報費 553,704 |
| ・ 雑収入 702               | ・ H26年度会報費 600           |
|                         | ・ H26年度諸行事支払い 298,335    |
|                         | ・ H27年度役員会会議費 48,608     |
|                         | ◎ 次期繰越金 1,505,702        |
|                         | (郵便貯金振替残) 1,281,285      |
|                         | (郵便貯金) 50,011            |
|                         | (現金) 174,406             |
| ◎ 総合計 3,853,460         | ◎ 総合計 3,853,460          |

2015(平成27)年度上期 (2015年4月1日～2015年9月30日)

(単位：円)

| 収入の部                    | 支出の部                  |
|-------------------------|-----------------------|
| ◎ 前期繰越金 1,505,702       | ◎ 支出計 689,320         |
| ◎ 収入計 1,006,000         | ・ 通信費 50,168          |
| ・ H27年度運営費支援収入 578,000  | ・ 印刷費 80,656          |
| ・ 同、寄付・広告収入 254,000     | ・ 事務費 65,672          |
| ・ H27年度諸行事参加費収入 174,000 | ・ 郵便、銀行手数料等 22,324    |
|                         | ・ H26年度会報費 294,400    |
|                         | ・ H27年度諸行事支払い 176,100 |
|                         | ◎ 次期繰越金 1,822,382     |
|                         | (郵便貯金振替残) 1,791,825   |
|                         | (郵便貯金) 50,011         |
|                         | (現金) ▲19,454          |
| ◎ 総合計 2,511,702         | ◎ 総合計 2,511,702       |

上記のとおり報告いたします。

事務局長(副会長) 渡辺 悟 ㊟

平成27年8月29日、11月23日の監査の結果、正確に処理・記帳されていることを認めます。

監事 梅木 隆志 ㊟

監事 物種 慶子 ㊟

# 総会報告 2015(平成27)年度 近畿双松会役員

2015/11/29 総会承認

| 役              | 期   | 氏名     | 役    | 期   | 氏名     |
|----------------|-----|--------|------|-----|--------|
| 常任顧問           | 高7  | 山本 雅昭  | 幹事   | 高17 | 岡 久夫   |
| 常任顧問           | 高11 | 押田 良樹  | 幹事   | 高18 | 小田 一美  |
|                |     |        | 常任幹事 | 高19 | 岩田 一志  |
| 会長             | 高16 | 松本 耕司  | 幹事   | 高19 | 池田 喜美代 |
|                |     |        | 常任幹事 | 高20 | 山崎 麻里子 |
| 副会長<br>(兼)事務局長 | 高20 | 渡辺 悟   | 常任幹事 | 高22 | 村田 貢   |
| 副会長            | 高23 | 松本 潤   | 幹事   | 高23 | 松本 幸子  |
| 副会長            | 高20 | 三好 資子  | 幹事   | 高24 | 岩間 令道  |
|                |     |        | 幹事   | 高24 | 糸原 直彦  |
| 監事             | 高16 | 梅木 隆志  | 幹事   | 高26 | 福岡 則博  |
| 監事             | 高20 | 物種 慶子  | 幹事   | 高27 | 新宮 富美子 |
|                |     |        | 常任幹事 | 高29 | 廣瀬 弘美  |
| 常任幹事           | 中68 | 荒銀 昌治  | 幹事   | 高30 | 千葉 潮   |
| 幹事             | 中68 | 青戸 元也  | 常任幹事 | 高31 | 宍道 弘志  |
| 幹事             | 高1  | 荻田 運三郎 | 幹事   | 高31 | 小林 満   |
| 幹事             | 高2  | 久保田 幸雄 | 幹事   | 高31 | 西村 英明  |
| 幹事             | 高3  | 緒形 公士  | 幹事   | 高32 | 藤本 斉子  |
| 常任幹事           | 高5  | 山田 稔   | 幹事   | 高32 | 浅沼 吉正  |
| 幹事             | 高6  | 田村 稔久  | 幹事   | 高32 | 木村 滋樹  |
| 常任幹事           | 高7  | 廣政 俣彦  | 幹事   | 高33 | 柳井 利明  |
| 幹事             | 高8  | 山崎 杲   | 幹事   | 高34 | 細田 昌幸  |
| 幹事             | 高9  | 清水 良子  | 幹事   | 高34 | 山岡 雅仁  |
| 常任幹事           | 高10 | 佐和田 丸  | 常任幹事 | 高35 | 富岡 幸子  |
| 幹事             | 高11 | 田中 一男  | 幹事   | 高36 | 森口 次郎  |
| 幹事             | 高12 | 萩野 貫悟  | 幹事   | 高43 | 安達 宏昭  |
| (新)幹事          | 高13 | 永江 幹雄  |      |     |        |
| 常任幹事           | 高14 | 加藤 巡一  |      |     | 以上 52名 |
| 常任幹事           | 高15 | 金坂 喜好  |      |     |        |
| 幹事             | 高15 | 安達 和彦  | ◆退任  | 高13 | 四方 田司  |
| 常任幹事           | 高16 | 土田 和男  |      |     |        |
| 幹事             | 高16 | 三成 宏二  |      |     |        |

以上 52名

◆退任

高13 四方 田司

## 総会・講演会・懇親会 出席者名簿

### ご来賓

|   | 卒業期     | 卒業年 | 氏名      | 所属                     |
|---|---------|-----|---------|------------------------|
| 1 | 高21     | S45 | 勝 部 昌 幸 | 双松会副会長(北堀小・松江一中)       |
| 2 | 高16     | S40 | 金 平 憲   | 双松会幹事長(母衣小・附属中)        |
| 3 | 高26・理5  | S50 | 泉 雄 二 郎 | 松江北高校校長(附属小・松江一中)      |
| 4 | 高25     | S49 | 鳥 屋 尾 浩 | 松江北高校教諭・双松会校内幹事長       |
| 5 | 高20(講師) | S44 | 清 水 伸 夫 | 松江市教育長                 |
| 6 |         |     | 竹 谷 奨   | 近畿松江会幹事長(八束小・八束中・松江高専) |

### 会員

|    | 卒業期 | 卒業年 | 氏名        | 旧姓  | 出身(小)                 | 出身(中)        | クラブ        |
|----|-----|-----|-----------|-----|-----------------------|--------------|------------|
| 7  | 中63 | S18 | 肥 塚 隆 正   |     | 千駄谷第一                 | 旧松中          |            |
| 8  | 中68 | S23 | 青 戸 元 也   |     | 島根師範附属小               | 旧松中          | 剣道・テニス部    |
| 9  | 中68 | S23 | 荒 銀 昌 治   |     | 広瀬町小                  | 旧松中          |            |
| 10 | 高1  | S25 | 伊 藤 雅 義   |     | 来待小                   | 旧松中          | 生物部        |
| 11 | 高1  | S25 | 荻 田 運 三 郎 |     | 雑賀・乃木小                | 旧松中          | 映画研究会      |
| 12 | 高1  | S25 | 竹 内 一 郎   |     | 加茂町小                  | 旧松中          | 剣道部        |
| 13 | 高1  | S25 | 田 端 要 子   | 伊豆賀 | 安来小                   |              |            |
| 14 | 高2  | S26 | 久 保 田 幸 雄 |     | 川津小                   | 旧松中          | バレー部       |
| 15 | 高2  | S26 | 兼 清 久 子   | 小林  | 豊中市立明徳国民学校            | 松江高校(女)併設中学校 | 演劇部        |
| 16 | 高5  | S29 | 春 日 敏 邦   |     | 朝日小                   | 松江三中         | 美術部        |
| 17 | 高5  | S29 | 山 田 稔     |     | 附属小                   | 附属中          | サッカー部      |
| 18 | 高6  | S30 | 田 村 稔 久   |     | 北堀小                   | 松江一中         |            |
| 19 | 高6  | S30 | 原 卓 司     |     | 朝日小                   | 松江三中         |            |
| 20 | 高6  | S30 | 森 岡 敏 眞   |     | 母衣・西郷・雑賀<br>(引揚げ時、大連) | 松江二中         | ユネスコ・写真・英研 |
| 21 | 高6  | S30 | 石 原 綏 子   | 河津  | 雑賀小                   | 松江四中         | コーラス部      |
| 22 | 高7  | S31 | 寺 本 好 弘   | 岩田  | 北堀小                   | 松江一中         | バスケット部     |
| 23 | 高7  | S31 | 廣 政 椒 彦   |     | 雑賀小                   | 松江三中         |            |
| 24 | 高7  | S31 | 山 本 雅 昭   |     | 恵曇小                   | 恵曇中          | バレー部       |
| 25 | 高9  | S33 | 田 中 英 明   | 小立  | 乃木小                   | 松江三中         | 柔道部        |
| 26 | 高9  | S33 | 佐々木悦子     | 岡部  | 徳島市立津田小               | 松江一中         |            |
| 27 | 高9  | S33 | 佐藤早智子     | 松村  | 雑賀小                   | 附属中          | 花道・手芸部     |
| 28 | 高9  | S33 | 清 水 良 子   | 松尾  | 北堀小                   | 松江一中         | 化学分析       |

## 会員

|    | 卒業期      | 卒業年 | 氏名        | 旧姓 | 出身(小)        | 出身(中)        | クラブ              |
|----|----------|-----|-----------|----|--------------|--------------|------------------|
| 29 | 高10      | S34 | 面 白 紘     |    | 本庄小          | 本庄中          | サッカー部            |
| 30 | 高10      | S34 | 佐 藤 菁 治   |    | 大野小          | 大野中          |                  |
| 31 | 高11      | S35 | 押 田 良 樹   |    | 雑賀小          | 松江四中         | 軟式テニス・図書         |
| 32 | 高11      | S35 | 田 中 一 男   |    | 白潟小          | 松江三中         | 宍道湖一周、2・3年連続学年1位 |
| 33 | 高11      | S35 | 村 尾 俊 治   |    | 雑賀小          | 松江四中         | 絵画部              |
| 34 | 高11      | S35 | 中 尾 長 子   | 高橋 | 附属小          | 附属中          |                  |
| 35 | 高12      | S36 | 萩 野 貫 悟   | 筒井 | 揖屋小          | 東出雲(揖屋)中     |                  |
| 36 | 高13      | S37 | 永 江 幹 雄   |    | 母衣小          | 松江二中         | 化学分析             |
| 37 | 高13      | S37 | 四 方 田 司   |    | 附属小          | 附属中          | サッカー部            |
| 38 | 高13      | S37 | 藤 田 トク子   | 小笹 | 白潟小          | 松江三中         | ソフトボール部          |
| 39 | 高13      | S37 | 山 下 俱 子   | 今井 | 乃木小          | 松江三中         | 美術部              |
| 40 | 高14(山口高) | S38 | 小 泉 勝 是   |    | 北堀小          | 松江一中         |                  |
| 41 | 高14      | S38 | 木 幡 晃 正   |    | 宍道小          | 附属中          | 陸上部              |
| 42 | 高15      | S39 | 金 坂 喜 好   |    | 大野小          | 大野中          |                  |
| 43 | 高15      | S39 | 佐 藤 修 介   |    | 内中原小         | 松江一中         | 新聞部              |
| 44 | 高16      | S40 | 井 上 伸 久   |    | 川津小          | 松江二中         |                  |
| 45 | 高16      | S40 | 梅 木 隆 志   |    | 森山(下字部尾分)    | 美保関北中        | 陸上部              |
| 46 | 高16      | S40 | 清 原 正 義   |    | 北堀小          | 附属中          | 陸上部              |
| 47 | 高16      | S40 | 佐々木 康雄    |    | 母衣小          | 松江二⇒一中       | 剣道部              |
| 48 | 高16      | S40 | 土 田 和 男   |    | 内中原小         | 松江一中         | バドミントン部          |
| 49 | 高16      | S40 | 松 本 耕 司   |    | 本庄小          | 本庄中          | 陸上部              |
| 50 | 高16      | S40 | 三 成 宏 二   |    | 附属小          | 附属中          |                  |
| 51 | 高16      | S40 | 森 藤 哲 章   |    | 広瀬小          | 広瀬中          |                  |
| 52 | 高16      | S40 | 山 田 敬 子   | 矢壁 | 松原(浜田)・川本・益田 | 益田東・浜田二・浜田高校 | 美術部              |
| 53 | 高17      | S41 | 秋 鹿 隆     |    |              |              |                  |
| 54 | 高17      | S41 | 岡 久 夫     |    | 法吉小          | 松江一中         | 陸上部              |
| 55 | 高17      | S41 | 岩 本 眞 左 子 | 万波 | 北堀小          | 附属中          | 合唱部              |
| 56 | 高17      | S41 | 島 本 妃 早 美 | 米田 | 母衣小          | 松江二中         | 美術部              |
| 57 | 高17      | S41 | 原 田 博 子   | 森井 | 北堀小          | 松江一中         | 軟式テニス部           |
| 58 | 高18      | S42 | 石 賀 誠 一 郎 |    | 兵庫・豊岡小       | 松江一中         | 陸上部              |
| 59 | 高18      | S42 | 太 田 善 博   |    | 安来小          | 安来一中         |                  |
| 60 | 高18      | S42 | 小 田 一 美   |    | 内中原小         | 松江一中         | 天文気象部            |

## 総会・講演会・懇親会 出席者名簿

### 会員

|    | 卒業期    | 卒業年 | 氏名     | 旧姓 | 出身(小)             | 出身(中)      | クラブ         |
|----|--------|-----|--------|----|-------------------|------------|-------------|
| 61 | 高19    | S43 | 岩田 一志  |    | 荒島(安来)小           | 安来三中       | バレー・文芸部     |
| 62 | 高19    | S43 | 千葉 秀二  |    | 附属小               | 附属中        |             |
| 63 | 高19    | S43 | 新見 泰朗  |    | 附属小               | 附属中        |             |
| 64 | 高19    | S43 | 万波 迪義  |    | 附属小               | 附属中        | 陸上部         |
| 65 | 高19    | S43 | 元 栄 徹  | 成相 | 飯梨(安来)小           | 安来三中       |             |
| 66 | 高19    | S43 | 池田 喜美代 | 川原 | 北堀小               | 松江一中       | 考古学部        |
| 67 | 高20    | S44 | 小数賀 健二 |    | 法吉小               | 松江一中       |             |
| 68 | 高20    | S44 | 浜見 良樹  |    | 松原(浜田)小           | 浜田二中       | 野球部         |
| 69 | 高20    | S44 | 渡 辺 悟  |    | 附属小               | 附属中        | ボート部        |
| 70 | 高20    | S44 | 三好 資子  | 恩田 | 北堀小               | 松江一中       | (帰宅部)       |
| 71 | 高20    | S44 | 物種 慶子  | 北脇 | 本庄小               | 附属中        |             |
| 72 | 高20    | S44 | 山寄 麻里子 | 木村 | 益田・松原小(浜田)        | 浜田二・松江一中   | 双曲(お琴)部     |
| 73 | 高22    | S46 | 実重 祐二  |    | 安来小               | 安来一中       |             |
| 74 | 高22    | S46 | 内藤 清志  |    |                   |            |             |
| 75 | 高22    | S46 | 内藤 善夫  |    | 朝日小               | 附属中        | 陸上部         |
| 76 | 高22    | S46 | 永瀬 光一郎 |    | 母衣小               | 松江二中       |             |
| 77 | 高22    | S46 | 村田 貢   |    | 西郷小               | 西郷中        | バンド活動 早弁クラブ |
| 78 | 高22    | S46 | 大浦 綾子  |    | 北堀小               | 松江一中       | 機械体操部       |
| 79 | 高22    | S46 | 大浜 緑   | 宮本 | 本庄小               | 本庄中        | 華道部         |
| 80 | 高22    | S46 | 木山 洋子  | 平田 | 三成・上山佐・広瀬小        | 広瀬・西郷中     |             |
| 81 | 高22    | S46 | 鶴羽 孝子  | 石橋 | 持田小               | 松江二中       |             |
| 82 | 高23    | S47 | 朝比奈 博則 |    | 吉田(安来)小           | 安来二中       | 野球部         |
| 83 | 高23    | S47 | 松本 潤   |    | 安来小               | 安来一中       |             |
| 84 | 高23    | S47 | 森脇 泰雄  |    | 内中原小              | 松江一中       | 無線部         |
| 85 | 高23    | S47 | 和田 邦孝  |    | 津田・内中原小           | 松江一中       | 硬式テニス部      |
| 86 | 高23    | S47 | 松本 幸子  |    | 母衣小               | 松江二中       | バドミントン部     |
| 87 | 高23    | S47 | 山口 紀子  | 宮崎 | 内中原・松原(浜田)・温泉津・木次 | 木次・川本・松江一中 | 生物部         |
| 88 | 高24・理3 | S48 | 岩間 令道  |    |                   |            |             |
| 89 | 高26・理5 | S50 | 松村 聡   |    |                   |            |             |
| 90 | 高27    | S51 | 木田 京子  | 能海 | 本庄小               | 本庄中        |             |
| 91 | 高27    | S51 | 新宮 富美子 | 新川 | 母衣小               | 松江二中       |             |

## 会員

|     | 卒業期 | 卒業年 | 氏名     | 旧姓 | 出身(小)   | 出身(中) | クラブ     |
|-----|-----|-----|--------|----|---------|-------|---------|
| 92  | 高27 | S51 | 松田 稚子  | 永島 | 意東小     | 東出雲中  | 硬式テニス部  |
| 93  | 高28 | S52 | 赤井 真一郎 |    | 母衣小     | 松江二中  | 硬式テニス部  |
| 94  | 高29 | S53 | 金田 康嗣  |    | 附属小     | 附属中   | 陸上競技部   |
| 95  | 高29 | S53 | 山本 修司  |    | 恵曇小     | 鹿島中   | バレー部    |
| 96  | 高29 | S53 | 須藤 聖子  |    | 大宅小(京都) | 松江二中  | 剣道部     |
| 97  | 高29 | S53 | 野津 さとみ |    | 安来小     | 安来一中  |         |
| 98  | 高29 | S53 | 浜野 則子  | 田中 | 城北(法吉)小 | 松江二中  | JRC     |
| 99  | 高31 | S55 | 宍道 弘志  |    | 内中原小    | 松江一中  | 弓道部     |
| 100 | 高32 | S56 | 浅沼 吉正  |    |         |       |         |
| 101 | 高32 | S56 | 木村 滋樹  |    | 内中原小    | 松江一中  | 硬式テニス部  |
| 102 | 高32 | S56 | 中島 誠   |    | 母衣小     | 松江二中  | ボート部    |
| 103 | 高32 | S56 | 藤本 斉子  | 藤原 |         |       |         |
| 104 | 高35 | S59 | 富岡 幸子  | 三和 | 七類小     | 美保関北中 |         |
| 105 | 高38 | S62 | 長谷川 浩之 |    | 白潟小     | 松江三中  | 野球部     |
| 106 | 高43 | H4  | 安達 宏昭  |    | 内中原小    | 松江一中  | バドミントン部 |
| 107 | 高48 | H9  | 中井 正樹  |    | 広島・府中小  | 鹿島中   |         |

## 学生ゲスト

|     | 卒業期 | 卒業年 | 氏名     | 旧姓 | 出身(小)  | 出身(中) | クラブ      |
|-----|-----|-----|--------|----|--------|-------|----------|
| 108 | 高65 | H26 | 宍道 航   |    | 附属小    | 附属中   | ソフトテニス部  |
| 109 | 高66 | H27 | 大北 祥之  |    | 城北小    | 松江一中  | ボート部     |
| 110 | 高66 | H27 | 佐々木 大輔 |    | 浜田・石見小 | 附属中   | 自然科学部    |
| 111 | 高66 | H27 | 杉原 慶彦  |    |        |       |          |
| 112 | 高66 | H27 | 高木 あゆみ |    | 城北小    | 松江一中  | 女子バスケット部 |
| 113 | 高66 | H27 | 山本 彩加  |    | 法吉小    | 松江一中  | 華道部      |

開会ご挨拶  
近畿双松会会長  
松本耕司 (16)



皆様 こんにちは。私は、今年の総会で11期の  
押田前会長様からバトンを受け、会長を仰せつかり  
ました16期の松本耕司でございます。どうぞよろしく  
お願いいたします。

本日は素晴らしい天気にも恵まれ、こうして多数の  
皆様にご参加をいただき、真に有難く、嬉しく存じて  
おります。厚く御礼を申し上げます。

また、松江から、双松会の勝部副会長様、金平幹事  
長様、母校からは泉校長先生、校内幹事長の鳥屋尾  
先生、そして、本日の講演会講師をお願いして  
おります清水松江市教育長様には遠いところをお運  
びいただき、厚く御礼を申し上げます。また、この  
近畿の地で日頃ご支援をいただいております近畿  
松江会からは竹谷幹事長様が、さらには、本年か  
らこの近畿の地で生活を始められました学生ゲスト  
の皆様6名にもご参加をいただきました。後ほど、  
個々にはご紹介をさせていただきますが、まづも  
って高い席からではございますが、ご来賓の皆様  
には厚く御礼を申し上げる次第でございます。

さて、役目でございますので、型どおりのおさら  
いをいたしますと、母校は明治9年1876年の開校  
ですので本年が139年目となります。大変な歴史  
を重ねてきております。

また、近畿双松会も90年前の大正の末には当  
時の旧制松江中学の先輩の皆様により活動が始め  
られたと聞いております。そして、不幸な戦争の  
時代の中絶がございましたが、昭和33年1958年  
に言わば第二次の近畿双松会の活動が再開をされ、  
そこから数えて今回が57年目となります。因みに、

東京双松会は丁度今年が60周年目ということ  
です。いずれにしても、戦後だけでも大変な歴史を  
刻んできていることを、皆様とともにあらためて  
確認いたしたいと思っております。

その間、新制の松江高校は昭和36年1961年、  
北高と南高に分かれ、昭和58年1983年には東高が  
できて、松江市内には普通高校が3校あるという、  
これはこれで又、大変な状況が今日まで続いて  
おります。

私はと申せば、平成14年2002年の甲子園21  
世紀卒出場の頃から、近畿双松会の事務局のお手  
伝いをさせていただくようになりました。その頃は、  
なかなか北高世代の方々のご参加が思わしくなく、  
「北高世代の参加の拡大」が私に与えられた仕事  
でした。考えてみますと私の16期は北高としての  
入学2期目になりますので、「やらねばならぬ世代  
のかなあ」と思ったことを昨日のこのように思  
い出します。

そして、今日、こうして昨年と変わらず総会を  
開催することができて、本当に喜んでいる次第で  
ございます。この間の経験から感じておりますこ  
とをひと言申し上げさせていただくなら、やはり  
先輩は親や兄、姉のように尊敬しなければならない  
な。同輩とはいつまでも励まし合っていかなけれ  
ばならないな。後輩は弟、妹、また子供のように  
慈しんでいかなければならないな、ということ  
でございます。当たり前のことようですが、その  
方が、明らかに人生がふくらんでいくな、と実感  
いたしております。

そのためにも、こういった会は楽しくなごや  
かな会でありたいと、心から思っております。そ  
う思いながら私の責任を果たし、また次の世代  
にバトンを渡していければと思っておりますので、  
引き続きのご理解、ご支援、ご参加をどうぞ  
よろしくお願いいたします。

今日の学生ゲストの皆さんの中には、高野山で

修業を始められた方もいらっしゃると思います。「聖地高野山」から下界に降りてきていただいたこととなります。私は曹洞宗であります、今日一日は弘法大師さんの「ふところ」にいだかれたいなと思っております。また、私の同期で兵庫県立大学の学長でいらっしゃる清原正義さんも駆けつけていただきました。現役の学長に出席いただける会も、そんなにはないだろうな、と有難い思いで一杯でございます。

「楽しく、なごやかに」を合言葉として、この場を過ごさせていただければと思っておりますので、皆様のご協力を、どうぞよろしくお願い申しあげまして、簡単ではございますが、開会のご挨拶とさせていただきます。本日のご参集、真に有難うございました。

## 来賓ご挨拶 双松会副会長 勝部昌幸 (21)



皆様 こんにちは。ご紹介いただきました21期の勝部昌幸と申します。北堀小学校、松江一中出身です。

さて、双松会では今までご指導いただきました庄司肇会長(11)から金津任紀会長(16)への交代がありました。本来であれば金津新会長がご挨拶にうかがうべきところですが、所用のため、私が代理でまいりました。金津会長からは皆様にくれぐれもよろしくとのことでもございましたのでお伝えさせていただきます。

本日の総会の開催、誠にありがとうございます。私も北高の校長時代に一度おうかがいをさせていただきましたので二度目の参加になりますが、沢山

の会員の皆様にご参加をいただいでのご盛会でご同慶に存じます。

皆様には日頃より、双松会の活動に大変なご協力をいただきまして有難うございます。特に昨年呼びかけをさせていただいた二本松の保全と校地の緑化を目的とした「北高の緑を守る基金」につきましては、全国から700万円もの多くのご寄付をいただきました。私は川津校舎の卒業生ですが、川津の卒業生であれ、赤山の卒業生であれ、いかに卒業生の皆様が母校や後輩や赤山の双松に深い思いをお寄せいただいているかを強く感じた次第でございます。

いただきました基金につきましては有意義に活用をさせていただきます。本当に有難うございました。

赤山～川津～赤山と校舎が変遷する中で、再び赤山に移ってからもう37年になりますが、北高の存在は誠に大きく、塩見畷界隈の市民の皆さんからは「北高さん」と親しまれ、可愛がられておりまして、本当に今の地に定着してきたなと喜んでおります。

また、お向かいに見える松江城が遂に国宝に指定されたということで、松江市民あげて喜びの最中ですが、観光客も大変増えてきております。その観光客の中を北高生は毎日登下校している訳ですが、北高生も松江城のようにりりしく堂々と、そして穏やかに育って行って欲しいと願っているところでございます。

最後になりましたが、来年、北高が140周年を迎えることに関しまして卒業生の皆様にお願いがございます。双松会では北高の教育プログラムを応援することを目的とし、校歌の三番に「世界の人たる誇りに立たん」とありますが、これを具現化していくために「世界の人たれ北高基金」を立ち上げたいと考えています。現在はグローバルな時代であると同時に、国内では少子高齢化や地方の再生の問題をかかえるなど大変難しい時代になっておりま

## ご挨拶

すが、こういった課題に挑戦し、活躍していける人材を育てていく為、まずは世界を見て欲しいと考えております。

その為に海外へ生徒を研修生として派遣するなど、みずみずしい高校生の時から意識づけをし、また、それを応援する体制を強化していきたいと考えております。来年度から具体的な動きを始め、会報等でご案内をさせていただきますが、その節はどうぞご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

また、来年の11月12日(土)には、創立140周年記念式典をホテル一畑でおこないます。北高校舎も記念館も解放されることになるとと思いますが、皆様には松江にお帰りいただいてご友人との旧交をあたためただけだと存じております。多数の皆様のご参加をいただきますようお願いを申しあげまして、ご挨拶とさせていただきます。本日のご盛会、誠にありがとうございました。

### 来賓ご挨拶 松江北高校校長 泉 雄二郎 (26・理5)



皆様、こんにちは。ご無沙汰をいたしております。昨年に続きましてお招きをいただき有難うございます。

近畿双松会の皆様のご活躍ぶりはHPでつぶさに拝見しています。HPの累計アクセス数が3万件になると聞いておりますし、落語や文楽鑑賞会、ゴルフ会、歴史ウォーキングやハイキングなど活発な活動をされておりまして、我々現役も心強い思いをいたしております。

さて、去年この場で二つのことを報告させていただきました。一つは「最近、北高生には元気がない」ということ、もう一つは「戦後70年を経て、今、北高は転換期にある」ということでした。

まず、「元気」がない、ということですが、今年は少し元気になりました(笑)。何をもって元気があるのかと言うことはむずかしいですが、例えば、今年は5年ぶりに県の高校総体で男子も優勝、女子も優勝の総合完全優勝を果たしました。(拍手)

パドミントン、登山、弓道、ボート、陸上競技が全国大会に出場しました。中でも陸上競技の女子800mで2年生の女子生徒が大活躍をしております、皆様の中からも応援に来ていただいた紀三井寺での全国インターハイでは残念ながら5位でしたが、その後、国体5位、そしてこの秋の全日本ジュニア(大学1年まで)では2年生で出場して遂に優勝しました。今、同世代では一番強いということになり、東京オリンピックの強化選手にも指定されつつあると聞いています。これも、先輩の皆様方の後押しのお蔭ではないかと思っています。

また、文化系のクラブでも今年は活躍したクラブが多くて、放送部、美術部、囲碁・将棋、百人一首・カルタが全国大会に出場しました。百人一首・カルタでは、読手の部門で全国2位の2年生の女子生徒が出ました。これも来年は全国チャンピオンになるものと期待しています。合唱部も6年ぶりにNHKの全国学校音楽コンクールに出場しました。入賞はできませんでしたが久しぶりのことで大変喜びました。

その他にも地域課題の発表とか、読書感想文とか、国際貢献に関する弁論大会、英語ディベート大会、科学の甲子園とかの全国規模の大会にも2年生を中心に出場することになっていまして、これから成果があがってくるものと考えています。よく新聞に「北高が・・・」と活躍の様子が載ることがありますが、その度ごとに、近隣の学校からは「又、北高かや」と言われるような勢いで活躍しているところ

でございます。

さて、「転換点」ということについてですが、来年は創立140周年を迎え、旧制中学70年、新制高校70年を経過し、いよいよ次の70年に入ると言う意味で転換点と申し上げています。

川津校舎の時代は学年11クラス各55名とか、全校生徒で1,500人を超える時代があったとお聞きしていますが、現在は北・南・東の普通高校三校で学年8・8・6クラスです。それが来年からは北・南は1クラス減で7・7・6クラスになる予定です。これから5年間で中学3年生が300人減ると言われていまして、これは北高規模の学校が1校なくなるということですので大変な時代を迎えております。

ご承知のように松江市内は小学区制で、出身小学校で進学する普通高校も決められています。こういった「校区の見直し」とか様々なことが今後の課題になってきております。7クラスを維持することもなかなか難しい状況になっておりまして、北高としては今まで三校は等質等量ということでやってきましたが、そうも言っておれないという状況になってきておりまして、三校がそれぞれの特色を出す、差異化をすすめていく時がきたと考えています。

北高がめざすところとしては、私は「No 1スクール」と言うよりは「リーディングスクール」という言葉を使っていますが、松江と言わず全県をリードする勢いのある学校になっていく、一層に存在感を高めていくことが必要な時代になってきていると考えております。

具体的な方法としては、ひたすら受験勉強に励むことはこれはこれで重要なことだと思いますが、もう少し「外に目を向けたい、外に向かって学びを取りに行く姿勢を醸成したい」と考えています。身近な地域の課題を考えさせる、さらには外国にも出かけて体験、経験を積ませる、その過程で自分はこのからの社会をよくしていくために何ができるか、どうすべきかを考えさせ、そこから「学び」に火をつけていきたい、という取り組みを始めたところでございます。

先ほど勝部副会長のお話にもありましたように、北高のグローバル戦略を推進するために140周年を記念し「世界の人たれ北高基金」の創設と5年間で目標1,000万の基金を双松会にお願いいたしました。アメリカなど海外への派遣費用にはそれなりに資金が必要ですし、一人でも多くの生徒に経験させてやりたいと思っております。また、それ以外にも地域課題研究のチームもつくってございまして、資金があればいろいろなことも可能になりますので、現役生へのご支援を賜りたいと思っております次第でございます。

最後になりましたが、こうして皆様のご活躍ぶりを目の当たりにいたしますと、やはり生徒たちを元気づける源は、日常の授業や部活動に加えて、双松会の先輩の皆様、保護者の皆様、地域の有志の皆様、進学する大学のご協力等々の支えがあってこそ、つまり学校外のいろいろな社会との接点があって初めて生徒たちも元気づくのだと思います。

学校内にどんどん社会からの風を吹き込ませたいと考えております。皆様は広く国内外でご活躍をされてきておりますので、是非お知恵をお貸しいただきますよう、又、皆様がお持ちの様々なネットワークに生徒、教員をつないでいただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

以上、近況報告とお願いをさせていただきます。本日のご盛会、誠にありがとうございます。

◆青少年読書感想文コンクール全国第2位  
読書感想画コンクール全国第3位

平成27年2月7日(土)

毎日新聞社主催の感想文コンクールで、昨年2月に山根ゆうかさん(当時1年)が全国2位に当たる賞を受賞しました。また、今年度は感想画コンクールで青山佳乃子さん(2年)が全国3位に当たる賞をいただきました。



受賞会場(経団連会館)にて記念写真

◆ICT機器全クラス設置

事業期間：平成27年3月1日～平成29年3月31日

県教委「ICTの活用による新たな学び推進モデル事業」のモデル校として北高全クラスに実物投影机、プロジェクター、スクリーンがセットで常設されました。授業の幅も広がり、生徒が主体的に学ぶ、より質の高い授業づくりに役立っています。



◆国公立大学(現浪計204名合格)

平成27年3月31日(火)

東京大学1名、京都大学3名、国公立医学科9人を含む204名の生徒が国公立大学に合格しました。難関10大学の合格者は39名でした。

また、私立大学の合格者数は、延べ306名でした。



進路指導室前に合格者掲示

◆第53回島根県高等学校総合体育大会『総合優勝!』

6月8日(月)

男子総合優勝、女子総合優勝で5年ぶりの完全総合優勝を成し遂げました。白地に臙脂の「疾風迅雷」の旗は、総合優勝したときのみ掲げられます。5年ぶりのお披露目でした。

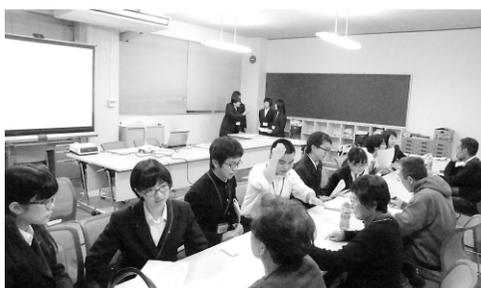
来年も掲げます。



◆高校生国際フォーラムin倉吉2015最優秀賞(初)!  
そしてその後は英語教室開催

8月1日(土)～3日(月)

国際文化観光都市松江の魅力を活かすために、実際に行った調査結果に基づき、高校生としてできることをまとめ行動に移すまでの経緯についてプレゼンテーションを行いました。その後も定期的に地域の方を北高に招き、生徒による英会話教室を開催しています。写真はその様子です。



## ◆来年度、北高1学級減

9月5日(土)

2006年度から学級数を減らしていない松江北、松江南の学級数の減が決定しました。(普通科6、理数科1の7学級)卒業生の皆様には非常に残念なお知らせとなりました。



## ◆西村房太郎先生「質実剛健」書

9月24日(木)

第18代校長西村房太郎の揮毫「質実剛健」は、永年、起雲館に保管されていました。北高の校訓と定められた当時の初心に戻り、本校正面玄関に掲げさせていただくこととなりました。是非一度ご覧ください。



校訓「質実剛健」

## ◆第9回世界ユース選手権コロンビア大会出場

7月、10月

陸上部の福田翔子さん(2年・右から2人目)が7月に行われた同大会に日本代表として女子800mに出場しました。

国内大会では10月の日本ジュニア選手権1位に輝いています。最近では2020年の東京オリンピックの強化選手に選ばれ、ナショナル強化合宿に参加しています。



## ◆合唱部、NHK音楽コンクール出場!

10月10日(土)

合唱部が第82回NHK全国学校音楽コンクール中国ブロックコンクールに出場し、第1位相当の金賞を受賞し、6年ぶり25回目の全国コンクール出場を果たしました。

2曲を演奏し、楽譜と歌詞を深く読み込んだ緻密で丁寧な演奏が高く評価されました。



## ◆グローバル課題研究成果発表会(2年生)

平成28年2月12日(金)

総合的な学習の時間の一環として、昨年度「地域課題研究」がスタートしました。今年度はそれをさらに発展させ、2年生は世の中の動きに関心を持ち、論理的な発表力を育成する目的で実施しました。医療、教育、政治とあらゆる分野に目を向け研究を深めています。



生徒による提言の様子



来賓テーブルの皆さん



中63期、中68期、高1期、高2期の皆さん



高5期、高6期の皆さん



高7期、高9期の皆さん



高10期、高15期、高24期の皆さん



高10期、高14期、高15期、高24期、高26期の皆さん



高11期、高12期、高13期の皆さん



高16期の皆さん



高17期、高18期の皆さん



高19期、高27期の皆さん



清水教育長、高20期の皆さん



高20期、高28期の皆さん

総会・講演会・懇親会 写真



高22期の皆さん



高23期、高32期の皆さん



高29期、高35期、高38期、高43期、高48期の皆さん



高29期、高35期、高38期、高48期の皆さん



学生ゲスト(高65・66期)の皆さん





## 「松江城国宝指定と今後のまちづくり」

講師：松江市教育長 清水伸夫 (20)



殿町に住んでおりましたので子どものころ、松江城のお堀でザリガニを採ったり、馬場池の奥の森に出かけてクルミを探したりとよく遊んだものです。市民の悲願だった松江城の国宝指定という嬉しいご報告をさせていただきます。

松江城天守は昭和10年、国宝保存法に基づいて国宝に指定されました。しかしながら、戦後、文化財保護法(昭和25年施行)によって重要文化財という位置づけに変わりました。新法における国宝とは「重要文化財のうち極めて秀で、かつ、文化的意義の特に深いもの」とされ、姫路城、犬山城、松本城、彦根城が国宝に指定されたのです。

松江城は「極めて秀で」ていないとされたわけですが、4つの国宝天守と比較すると、松江城は高さで3番目、面積で2番目です。規模としても国宝の資格を十分に持っていたんだなあといま改めて思います。その辺りの選定基準が少しあいまいで、松江市民としては釈然としないものが残った決定だったと思います。

昭和30年代には国への陳情も行われたようですが、立ち消えになり、私が松江市役所に入った昭和48年時点で国宝を目指す取り組み、運動はまったくありませんでした。

それが、副教育長だった平成17年2月、松浦正敬市長から呼び出され、こう言われました。「松江城の国宝化についてどう思うか」「なぜ松江城は国宝にならなかったのか」

文化庁を訪問して主任調査官に意見を伺ったところ、こんな見解が示されました。奈良の長谷寺本

### ●清水伸夫氏

松江市出身。松江北高、慶応義塾大学卒。昭和48年松江市採用。水道部長、総務部長、市長室長、交通局長などを経て平成25年5月から現職。

堂は再建時期が不明確だったのが、新たな調査研究で慶安3(1650)年であることが判明し、平成16年に国宝に指定された。姫路城が世界遺産になったこともあり、全国的に城郭をめぐるムードが高まっている。松江市も新しい発見、知見に基づいた、築城時期や城郭構造に関する歴史的な位置づけをしっかりと持たれば、国宝の可能性は十分にあると思うと。

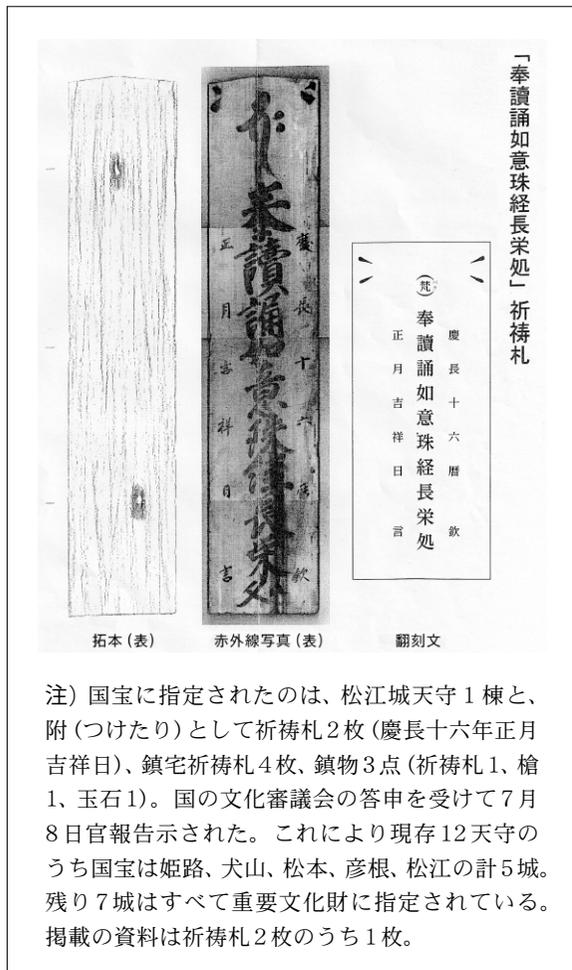
大変に心強い言葉をいただいて、さっそく松浦市長に報告しました。そして、平成21年に「松江城国宝化運動の推進」が市長の公約に盛り込まれ、松江市議会議員連盟と市民の会が発足、翌22年には128,044人の署名を集め、松浦市長と藤岡大拙・市民の会会長(島根県立大学短期大学部名誉教授)が文化庁を訪問して提出しました。その際、文化庁長官から「今後の調査に期待したい」との言葉があったとのことで、やっぱり市民運動と並んで学術調査も必要なんだなと改めて感じた次第です。

その学術調査で大きな転機があったのは平成24年5月でした。昭和12年に存在が確認されながら昭和30年の修理報告書で記載漏れとなり、行方が分からなくなっていた2枚の祈祷札が見つかったのです。

祈祷札が不明になっていることは昭和41年の学術論文で問題提起されていました。そこで市史料編纂室の職員が松江神社に保管されている松江城

関連の資料を編纂室に持ち帰って調べたところ、論文の指摘通り2枚の祈祷札がありました。

札には「慶長十六曆」「正月吉祥日」とあり、どちらもお経が読まれたことが書かれていました。「武運長久」といった言葉もあります。ただ、「松江城」を示す記載がないため、札と城との関わりが様々な角度から検討されました。そうした中で、天守地階（塩蔵の間）の2本の柱に釘穴が見つかり、それが2枚の祈祷札の釘穴とびたり一致したのです。



これで松江城の完成が慶長16(1611)年だったことが確定しました。平成27年5月15日、国の文化審議会は松江城の国宝指定を文部科学大臣に答申しました(=注)。指定要因は、「建築年代が明確になった」でした。釘穴を本当によく見つけたものだと思います。

指定要因はもう一つありました。「独自の特徴ある構造が明らかになった」というものです。これは松江城調査研究委員会(平成22年設置)の委員長を務めていただいた西和夫・神奈川大学名誉教授の研究の成果でした。昭和の大修理の資料を分析し、かつ姫路城など他の天守の資料と比較することで、「2階分の通し柱や包板の技法を用いた特徴的な柱構造が解明され、天守建築に優れた技法を用いた事例であることが判明した」と高く評価されたのです。

西先生は平成27年1月に亡くなりました。松江城の大恩人が、松江城国宝指定答申を見ずに逝かれたわけで残念でなりません。

さて、松江城国宝指定で私どもはある意味、大きな課題を背負ったと言えます。城そのもの、城の周辺、さらに市全体をいかにして磨きをかけていくか。その課題に応えるには、松江城や文化財は教育委員会が、それ以外の街づくりは別の部局が、という従来の組織では整合性のある街づくりは出来ないことは明らかです。

松江市は昨年からそうした縦割りをやめ、「歴史街づくり部」が担当する体制に変わりました。都市計画、景観保全、街の活性化といった多様な側面から松江の魅力を高めていくべく努めてまいりたいと思います。

抄録担当：渡辺 悟(20)

2015(平成27)年度「運営費支援、寄付・広告」ご協力者ご芳名 (敬称略)

|       |   |       |  |       |   |
|-------|---|-------|--|-------|---|
| ・中63期 | 肥塚隆正<br>坪倉修吉  | ・高6期  | 荻野克彦<br>田村稔久   |       | 神門英明<br>後藤武久  |
| ・中65期 | 諏訪秀富  |       | 永江秀一   |       | 田中一男  |
| ・中68期 | 青戸元也<br>荒銀昌治<br>竹内昭雄  |       | 森岡敏眞<br>荒木タミ子<br>小室ナオミ   |       | 野津丞稔<br>畑田俊治  |
| ・中69期 | 杵築武彦  | ・高7期  | 青戸俊夫   |       | 村尾伸夫  |
| ・高1期  | 飯塚満男<br>伊藤雅義<br>宇藤二男丸<br>荊田運三郎<br>喜多川治美<br>竹内一郎<br>永松良夫<br>林原信光<br>平山武秀<br>和田亮介<br>田端要子 |       | 後藤治久<br>高井和彦<br>寺本好弘<br>廣政俶彦<br>山本雅昭<br>田淵美喜子<br>玉井洋子  |       | 池尻和子<br>北村雅子<br>高砂イヨ<br>田村迪子<br>中尾長子<br>中川陽子<br>西脇文子  |
|       |   | ・高8期  | 黒田牧夫<br>長谷川忠雄<br>山崎 杲  | ・高12期 | 萩野貫悟<br>平塚善明<br>森倫也   |
| ・高2期  | 金津俊太郎<br>久保田幸雄<br>作野 宏<br>竹森英二<br>千葉新一<br>長崎 弘<br>成合茂博<br>石本春枝<br>兼清久子                  | ・高9期  | 岩成哲男<br>影山武男<br>坂本隆男<br>澄川光成<br>宗 智海<br>田中英明<br>伴 稔也<br>真野 透<br>山岡裕明<br>渡部 優<br>片岡英美子<br>木村八重子<br>佐々木悦子<br>佐藤早智子<br>篠田いづみ<br>清水良子<br>天野正彦<br>石倉末広<br>面白 紘<br>佐藤菁治<br>佐和田丸<br>清水義男<br>清水小枝子<br>太田厚樹<br>押田良樹 |       | 石川洋美<br>山本朝栄<br>井上俊雄<br>神田周平<br>永江幹雄<br>深澤千栄子<br>藤田トク子<br>水田昭子<br>水野明代<br>森脇順子<br>八板洋子<br>山下俱子<br>内田一三夫<br>片山伸雄<br>加藤巡一<br>木村修芳<br>小泉勝是<br>木幡晃正<br>富永寿郎<br>古川幸孝<br>宮原琢郎<br>三好洋二<br>森山國久<br>新名貴久<br>三島幸子 |
| ・高3期  | 緒形公士<br>佐藤藤芳<br>永井 彰<br>小川伸江<br>田淵宗明  |       |  | ・高13期 | 永江幹雄<br>深澤千栄子<br>藤田トク子<br>水田昭子<br>水野明代<br>森脇順子<br>八板洋子<br>山下俱子<br>内田一三夫<br>片山伸雄<br>加藤巡一<br>木村修芳<br>小泉勝是<br>木幡晃正<br>富永寿郎<br>古川幸孝<br>宮原琢郎<br>三好洋二<br>森山國久<br>新名貴久<br>三島幸子                                 |
| ・高4期  | 青木謙整  | ・高10期 | 春日敏邦<br>勝田守勇<br>客野 伸<br>寺本尚由<br>仁宮竜聖<br>松吉孝明<br>築武夫<br>山根 徹<br>山本 達  |       |   |
| ・高5期  |   | ・高11期 |  |       |   |

ご不審の点は事務局までご確認ください

|       |  |       |   |   |   |
|-------|--|-------|---|---|---|
| ・高15期 | 安達 和彦<br>金坂 喜好<br>佐藤 修介<br>真庭 功<br>寄神 道子   |       | 万波 迪義<br>元 栄 徹<br>池田 喜美代<br>大久保 章子<br>小敷 賀健二  | ・高26期                                     | 伊藤 博之<br>周藤 達夫<br>福間 則博<br>松村 聡   |
| ・高16期 | 井上 伸久<br>梅木 隆志<br>清原 正義<br>佐々木 康雄<br>土田 和男<br>坪倉 司郎<br>長野 米一<br>松本 耕司<br>三成 宏二<br>三吉 孜<br>森藤 哲章<br>石川 菖子<br>伊藤 育子<br>田中 由美子<br>中安 節子<br>西村 幸子<br>森川 葉子 | ・高20期 | 濱見 良樹<br>原田 康二<br>渡辺 悟<br>佐野 和子<br>三好 資子<br>物種 慶子<br>山寄 麻里子<br>渡邊 ゆかり<br>高島 真二<br>野津 一雄<br>花田 幸久<br>竹添 則子<br>石川 章<br>作野 国夫<br>内藤 善夫<br>永瀬 光一郎<br>村田 貢<br>大浦 綾子<br>大濱 緑<br>木山 洋子<br>鈴木 厚子<br>鶴羽 孝子   | ・高27期                                     | 三浦 清<br>木田 京子<br>新宮 富美子<br>松田 稚子<br>三木 真理<br>今藤 美富<br>・高28期<br>・高29期  |
| ・高17期 | 岡 久夫<br>後藤 研三<br>永井 貞泰<br>松本 芳樹<br>岩本 眞左子<br>木島 光子<br>島本 妃早美<br>西野 やよい<br>原田 博子  | ・高21期 | 山寄 麻里子<br>渡邊 ゆかり<br>高島 真二<br>野津 一雄<br>花田 幸久<br>竹添 則子<br>石川 章<br>作野 国夫<br>内藤 善夫<br>永瀬 光一郎<br>村田 貢<br>大浦 綾子<br>大濱 緑<br>木山 洋子<br>鈴木 厚子<br>鶴羽 孝子<br>朝比 奈博則<br>近藤 文雄<br>松本 潤<br>森脇 泰雄<br>和田 邦孝<br>今西 桂子<br>小松 久美子<br>橘 千里<br>内藤 みよ子<br>松本 幸子<br>山口 紀子<br>岩間 令道<br>水野 順子<br>飯石 浩康 | ・高30期<br>・高31期<br>・高32期                   | 太田 春樹<br>金田 康嗣<br>達山 暢<br>山本 修司<br>須藤 聖子<br>田中 年恵<br>野津 さとみ<br>浜野 則子<br>廣瀬 弘美<br>杉原 伸治<br>小林 満志<br>穴道 弘志<br>浅沼 吉正<br>木村 滋樹<br>田黒 公司<br>藤本 斉子<br>山岡 雅仁<br>山岡 祐子<br>富岡 幸子<br>安達 宏昭<br>・高51期 |
| ・高18期 | 太田 善博<br>小田 一美<br>稲生 喜子<br>大堀 愛子<br>堀内 富美子   | ・高22期 | 飯石 浩康   | ・高33期<br>・高34期<br>・高35期<br>・高43期<br>・高51期 | 荒井 悦加   |
| ・高19期 | 岩田 一志<br>江角 健一<br>佐々木 勇二<br>千葉 秀二<br>新見 泰朗<br>榎原 隆   | ・高23期 | ・高24期<br>・高25期  | 以上 240 名<br>(平成 28 年 2 月 13 日現在)          |   |

## 追 悼

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

(平成26年12月総会以降、事務局にご連絡のあったすべてを掲載しました)

### 物故会員

| 期    | 氏 名       | ご逝去年月日           |
|------|-----------|------------------|
| 中63期 | 泉 田 春 樹 様 | 宝塚市 平成26年5月      |
| 中65期 | 諏 訪 秀 富 様 | 茨木市 平成27年4月7日    |
| 中67期 | 島 村 邦 雄 様 | 大津市 平成27年2月      |
| 中68期 | 吉 岡 孝 夫 様 | 池田市 平成26年12月18日  |
| 高2期  | 千 葉 新 一 様 | 池田市 平成27年8月23日   |
| 高9期  | 有 本 亮 正 様 | 吹田市 平成26年2月9日    |
| 高13期 | 持 田 穰 様   | 神戸市 平成27年1月7日    |
| 高17期 | 田 淵 昭 様   | 東大阪市 平成26年10月11日 |

### ●会員の著書紹介

#### 「お賽銭はいくらがいいのか？」

長谷川浩之(38)著

長谷川さん(白潟小・松江三中・北高(野球部)・早稲田大学商学部)の著書を紹介します。

長谷川さんは公認会計士。白潟天満宮権禰宜で宮司の長男。大手会計事務所を経て平成22年独立。原点である神社の世界に恩返しをすべく神職資格を取得し、日本で唯一の「起業応援神主」として活躍中。

著書「お賽銭はいくらがいいのか？」(クロスメディア・パブリッシング社発行、1,480円)は、ストーリーでよくわかる経営と会計の実践書。父の死によって(松江に)帰郷し、従業員50人の鉄工所の後継社長になった主人公がホンモノの事業家に育っていく過程で、とかく敬遠されがちな経営と会計のポイントをわかりやすく理解できる構成になっています。

松江が舞台という楽しさも一杯で、現役のビジネスマンの皆様には是非ご一読をおすすめします。



佐和田司法書士事務所(松江市)顧問  
佐和田土地家屋調査士事務所(松江市)顧問  
島根県・遣島使 縁結び相談ボランティア

佐和田 丸 (10期)

〒573-1182 枚方市御殿山町 11-33-610

☎・fax 072-848-7417 メール: malu122@nifty.com

HP <http://simane.do47.net/kadoya.html>

以下縁結びコーナー お相手募集中 自薦他薦不問

- ・本人 1979年生男性 大学院修了 茨木市内神社跡取 結婚後別居
- ・本人 1965年生男性 阪大薬卒業薬剤師 松江市内薬局勤務 土地家屋調査士
- ・本人 1972年生女性 岡山大経卒 ライター 関西在住者希望

## ■第8回 落語鑑賞会

日時／平成27年3月22日(日)  
会場／「トリエホール」

今回は25名が参加し、東京落語の古今亭志輔師匠の「替り目」、「大山参り」、「三枚起請」、関西の若手桂治門さんの「初天神」を楽しみました。終了後、有志17名が懇親を深めました。

### ◆参加者は下記の通りです。(敬称略)

田村稔久(6)、田村廸子(11)、清水良子(9)ご夫妻、押田良樹(11)、萩野貫悟(12)、加藤巡一ご夫妻・古川幸孝・小泉勝是(14)、松本耕司・土田和男・森藤哲章ご夫妻・佐々木康雄・西村幸子(16)、渡辺悟・三好資子ご夫妻・山崎麻里子(20)、木山洋子・大浜緑(22)、山口紀子(23)、楠本範子・宮地登美子(ゲスト)



## ■第35回 ゴルフコンペ

日時／平成27年6月11日(木)  
場所／武庫ノ台ゴルフコース

### (近畿双松会オープン…双松会員外の参加を歓迎)

今回はゲスト7名を含み、昨年の倍近い21名が参加し、梅木隆志さん(16)がグロス92、ハンディ18.0(WP)、ネット74で、平成24年の第32回以来の2度目の優勝に輝きました。2位には初参加の田黒公司さん(32)、3



位にはゲストの近畿松江会会長伊藤征治さんが入られました。

### ◆参加者は下記の通りです。(敬称略)

客野伸・寺本尚由・仁宮竜聖(5)、廣政俣彦・山本雅昭(7)、木村八重子(9)、太田厚・押田良樹(11)、安達和彦(15)、井上伸久・梅木隆志・松本耕司(16)、三好資子・佐野和子(20)、田黒公司(32)、伊藤征治・内部茂・大野賢造・竹谷奨・武田貞雄・藤城坦・三好文章(ゲスト)



## ■第10回 文楽鑑賞会

日時／平成27年7月19日(日)  
会場／国立文楽劇場

平成18年に始まった文楽鑑賞会は今回で10回目、年々参加者も増え今回は27名のご参加がありました。演目は「生写朝顔話(しょううつしあさがおばなし)」、その内の「宇治川蚩狩の段」、「真葛が原茶店の段」、「岡崎隠れ家の段」、「明石浦船別れの段」、「葉売りの段」、「浜松小屋の段」で、元祖すれ違いともいうべき悲恋物語を鑑賞しました。年々、皆さんの目も肥えてきているようです。



### ◆参加者は下記の通りです。(敬称略)

田村稔久(6)、田村廸子(11)、木村八重子・佐々木悦子・清水良子(9)、押田良樹・中尾長子(11)、

加藤巡一ご夫妻・小泉勝是(14)、松本耕司(16)、渡辺悟・三好資子ご夫妻・山寄麻里子(20)、鶴羽孝子・大浜緑(22)、小松久美子・西村充子・葭田久美子(23)、瀬戸口二三子(24)、廣瀬弘美ご家族(29)、楠本範子・橋本充男ご夫妻、松岡茂(ゲスト)



## ■(番外)インターハイ陸上競技応援

日時／平成27年8月1日(土)  
会場／和歌山・紀三井寺陸上競技場

北高2年、陸上競技女子800mの期待の星、福田翔子さんの全国制覇をこの目で見ようと、陸上部OB・OGが炎天下の紀三井寺に応援に出かけました。若き血を燃やして応援しましたが、結果は残念ながら5位。3年の夏に期待することになりました。

### ◆参加者は下記の通りです。(敬称略)

松本耕司(16)、岡久夫・木島光子・宮本由美子(17)、石賀誠一郎(18)、万波迪義(19)、内藤善夫(22)、金田康嗣(29)



## ■第10回 歴史ウォーキング(堺市)

日時／平成27年10月4日(日)  
会場／堺市内

本年は毎年恒例の大河ドラマの地(「花燃ゆ」は萩市)を訪ねるには近畿からでは無理でしたので、千利休と与謝野晶子の記念館「利晶の杜」が話題となったかつての自由都市、豊かな歴史と文化を伝える町、堺を訪れることにし、30人が参加しました。

一日では堺のもう一つの顔である古墳群まで訪ねることは



できませんでしたが、それは堺市役所21階展望ロビーからたっぷり眺めることとし、鉄砲鍛冶屋敷や妙国寺や南宗寺など、中世の香り一杯の堺の町屋の風情の中を楽しみながら歩きました。

### ◆参加者は下記の通りです。(敬称略)

田村稔久(6)、田村廸子(11)、木村八重子・佐々木悦子・佐藤早智子・清水良子(9)、押田良樹・後藤武久・田中一男・村尾俊治(11)、萩野貫悟(12)、小泉勝是・宮原琢郎・三島幸子(14)、梅木隆志・松本耕司・森藤哲章・田中由美子(16)、岡久夫(17)、小田一美ご夫妻(18)、新見泰朗(19)、渡辺悟・佐野和子・三好資子ご夫妻・山寄麻里子(20)、近藤文雄・橘千里(23)、楠本範子(ゲスト)



## ■第5回「里山歩くぞ!」ハイキング (箕面⇒雨天中止)

日時／平成27年11月8日(日)  
コース／阪急箕面駅～箕面の大滝(往復)

公式には雨天中止としましたが、結果的に有志が雨中の行軍をしました。

担当の山寄麻里子(20)さんの願いもむなしく、前日からの天気予報は外れることなく朝からの雨。やむなく



22名の参加者には中止の連絡し、それでもという人もあったことから箕面駅に行ってみたら何と11名が集合済み。それではと傘を差し、カッパを着て意気高らかに秋雨の箕面の自然と大滝を楽しみました。

写真は、夏前の下見の際に私たちの目を楽しませてくれたアオバズクです。

中止ということでバスをされた11名の方には春の箕面の桜を愛でるリベンジの機会を提供しなければと考えています。

### ◆雨中行軍者は下記の通りです。(敬称略)

小泉勝是・古川幸孝(14)、松本耕司・森藤哲章(16)、岡久夫(17)、三好資子ご夫妻・山寄麻里子(20)、大浜緑・木山洋子(22)、瀬戸口二三子(24)



## ■第36回ゴルフコンペ

日時／平成27年12月9日(水)  
場所／枚方国際ゴルフ倶楽部

(近畿双松会プロ・・・双松会員のみ参加)

春のコンペは松江会からの参加応援をいただいてにぎやかに開催していますが、双松会の若手の方々の参加者が伸びないのが悩みでした。そこで、休日に開催すればお仕事をお持ちの方にも参加いただけるし、双松会員だけで腕を競うのも一興かと、双松会員(家族を含む)に限定して年二回目の開催を企画しました。

結果は休日開催は金額面で折り合わず。結局、平日開催にしましたが、優勝は田黒公司さん(32)でグロス97、ハンディ24(WP)、ネット73。若手に脚光をの趣旨だけは達成できたようです。2位は井上伸久さん(16)、3位は廣政俣彦さん(7)で、ベストグロスは廣政さんの91でした。佐野和子さん(20)が4位に食い込まれたのはお見事でした。

### ◆参加者は下記の通りです。(敬称略)

仁宮竜聖(5)、廣政俣彦(7)、田中英明・木村八重子(9)、安達和彦(15)、井上伸久・梅木隆志・松本耕司(16)、小田一美(18)、佐野和子(20)、田黒公司(32)



### 2016(平成28)年度 事務局会議(兼)有志新年懇親会

日時／平成28年1月11日(月・祝)

会場／曾根崎「がんこ」本店

事務局会議にご参加いただいている役員の方、昨年度の総会のお手伝いをいただいた方にお声をかけ、17名の有志が集まって、昨年度の慰労と新年度の決起の有意義なひと時を持ちました。

#### ◆参加者は下記の通りです。(敬称略)

村尾俊治(11)、萩野貫悟(12)、小泉勝是(14)、梅木隆志・土田和男・松本耕司・森藤哲章(16)、岡久夫(17)、小田一美(18)、池田喜美代(19)、渡辺悟・三好資子ご夫妻・物種慶子(20)、村田貢・大浜緑・木山洋子(22)、宍道弘志(31)



### 2016(平成28)年度 近畿双松会役員会(兼)新年懇親会

日時／平成28年1月30日(土)

会場／中央電気倶楽部

会則第8条に則り、役員会を開催しました。

松本会長から昨年度総会の盛会に対する協力への御礼と、本年度が母校の創立140周年で11月12日(土)に松江で記念式典がおこなわれること、それを受けて、近畿の総会懇親会は11月27日(日)に中央電気倶楽部でおこないたいとの報告がなされ、了承されました。

また、保有資金が減少気味であったものが、増加基調に転じたという嬉しい報告もありました。

役員会終了後、参加者は新年の抱負を語り合っ  
て懇親を深めました。

#### ◆参加役員は下記の通りです。(敬称略)

[常任顧問] 山本雅昭(7)・押田良樹(11)、[会長] 松本耕司(16)、[副会長] 三好資子(20)、[監事] 梅木隆志(16)・物種慶子(20)、[常任幹事] 廣政倅彦(7)・加藤巡一(14)・金坂喜好(15)・山寄麻里子(20)・富岡幸子(35)、[幹事] 田村稔久(6)・萩野貫悟(12)・小田一美(18)・池田喜美代(19)



## 11期 卒業55周年記念同窓会(全国)

日時／平成27年10月17日(土)

会場／サンラポーむらくも

報告者／押田良樹

川津の校舎を巣立って55年、5年ぶりに第7回目の同窓会が開かれました。前回の古希祝いを兼ねた卒業50周年記念同窓会の時は198名の出席がありましたが、5年経ち、今回は131名とこれまで最少の人数となりました。

それでも出席者は皆元気一杯で旧友との再会を喜び、時間のたつのも忘れ往時の思い出や近況に話が弾みました。

翌日は島根ゴルフ倶楽部で恒例のゴルフコンペ。15名の参加者があり、申し分のない秋晴れの下で楽しくラウンドしました。優勝は東京から参加の石原健司さんでした。



◆過去の11期同窓会開催記録は下記のとおりです。

| 回   | 開催日             | 名称             | 会場            | 出席者  |
|-----|-----------------|----------------|---------------|------|
| 第1回 | 平成2年<br>8月11日   | 卒業30周年<br>記念   | ホテル一畑         | 220名 |
| 第2回 | 平成7年<br>8月11日   | 卒業35周年<br>記念   | サンラポー<br>むらくも | 172名 |
| 第3回 | 平成13年<br>11月3日  | 還暦記念           | サンラポー<br>むらくも | 221名 |
| 第4回 | 平成17年<br>11月5日  | 卒業45周年<br>記念   | サンラポー<br>むらくも | 157名 |
| 第5回 | 平成20年<br>11月3日  | 松江開府<br>400年記念 | サンラポー<br>むらくも | 143名 |
| 第6回 | 平成22年<br>10月16日 | 卒業50周年<br>古稀記念 | ホテル一畑         | 198名 |
| 第7回 | 平成27年<br>10月17日 | 卒業55周年<br>記念   | サンラポー<br>むらくも | 131名 |



## 16期 近畿地区同期会

日時／平成27年5月30日(土)  
会場／曾根崎「がんこ」本店  
報告者／梅木隆志

5月恒例の同期会を12名が参加して開催しました。松江城天守が国宝に指定されたことを喜びあうとともに、参加者全員が近況報告をし、高校時代にタイムスリップして楽しい時間を過ごしました。

来年は、卒業50周年記念古稀同期会が同時期に松江で開催されるため、近畿での会合を中止し、松江への集合を呼びかけることにしました。

### ◆参加者は下記の通りです。(敬称略)

(前列左から)三成宏二・坪倉司郎・佐々木康雄・森川葉子・松本耕司(後列左から)長野米一・梅木隆志・山田敬子・井上伸久・都田艶子・森光雄・三吉孜



## 22期 関西同窓会「新年会」

日時／平成28年1月30日(土)  
会場／大阪肥後橋「徐園」  
報告者／鶴羽孝子

新しい年を迎え、皆の健勝を期して「新年会」を開催しました。数日前に大寒波に見舞われましたが、皆元気に顔を合わせることができたことを、まずは喜び合いました。参加者は16名、同期の集まりも回を重ね、皆気心が知れた仲間となり、はじめからジョークが飛び交い、賑やかにスタートしました。

冒頭、事務局鶴羽より、これまでの活動の報告と今後の催しへの提案を行い、吉岡(旧清田)さんの「乾杯」の音頭で宴が始まりました。しばらく歓談

したあとスピーチが始まり、近況報告をはじめ、趣味や習い事の話、家族の話など、終了時間ギリギリまで、全員が思い思いにスピーチしました。なかには意外な習い事をしている方や、社会で活躍しているご家族のお話など、興味深く耳を傾けました。

最後に、村田さんの締めのことばと、今回会場の手配を担当した永瀬さんの音頭で「乾杯」し、お開きとなりました。

### ◆参加者は下記の通りです。(敬称略)

内村昭・木山洋子(平田)・石川章・村田貢・倉橋勉・実重祐二・太田朗夫・西村紀子(松本)・吉岡裕美子(清田)・大浜緑(宮本)・鈴木厚子(原田)・内藤善夫・永瀬光一郎・石橋善和・内藤清志・鶴羽孝子(石橋)



22期関西同窓会ホームページ: <http://realwind.jp/kitako>

## 会員近況報告

この近況報告は、昨年の総会の出欠回答時(9～11月)を中心として、昨年の会報発行以降にお寄せいただいた近況を加えて構成しました。

半年前後の時差がありますこと、ご承知おきください。

### 中61(昭16卒)川島 普

老人ホームで過しております。

### 中61(昭16卒)菊田光男

老齢のため、失礼します。ご盛会になりますように！

### 中63(昭18卒)肥塚隆正

歳のせいで疲労を感じますが趣味で生き甲斐を感じています。水墨、陶芸、木彫、漢詩の作成等で暇をつぶしています。

### 中64(昭19卒)鐘築光紀

残念ながら車椅子の生活です。

### 中65(昭20卒)浜崎 茂

最近、高齢の為、生れ故郷の隠岐の島町での暮しが多くなった。私も家内も90歳代となりいずれ隠岐の土となる予定。

### 中66(昭20卒)熊野禮助

ご案内有難うございます。さすがに老体となり遠出はできません。ご盛会を祈るばかりです。

### 中68(昭23卒)青戸元也

近畿双松会のご案内ありがとうございました。80歳の坂も半ばとなって体力の衰えを感じることも頻りです。今春6月8日、松江の旧中68期の会も遂に閉じました。

### 中69(昭24卒)杵築武彦

いつもお世話になっています。体調不良のため長期入院していましたが、最近退院し、現在、経過観察中です。

### 高1(昭25卒)平山武秀

長期入院直後で健康に自信がなく、欠席させて頂

きます。ご盛会をお祈りしています。

### 高1(昭25卒)和田亮介

故郷回帰いたしましたので失礼いたします。永い間、皆様とのお縁を頂き、心から感謝いたします。益々の発展を祈ります。

### 高1(昭25卒)田端要子

同郷の友とのふれあいが無性に恋しく思われるこの頃です。先日、母の十七回忌に安来に行ってきました。亡き友がひょっこりと目の前に現れるような気がして、とてもなつかしい旅でした。

11月29日、お目もじを楽しみにしております。

### 高2(昭26卒)竹森英二

体調を崩し、しばらく静養していましたが、川柳の句会(番傘)に出席、余生をあたためています。

### 高3(昭27卒)永井 彰

年齢相応の生活を続けています。

### 高5(昭29卒)青木謙整

京都大本山東福寺宗務総長等を32年勤めさせて頂き、5年前に任を辞し、今は悠々とさせて頂いています。

### 高5(昭29卒)勝田守勇

体調不良のため、欠席いたします。

### 高5(昭29卒)三輪禮二

元氣！

### 高5(昭29卒)山田 稔

地元の尺八同好の人達10人のグループで、練習旁々老人会等への慰問演奏などを行っています。

**高5(昭29卒)山本達郎**

勝手ばかりいたし申し訳ありません。(昨年)2月より慢性心不全がひどくなり救急車で運ばれ、8月18日とりあえず仮の退院となり、現在自宅にて療養しております。

**高6(昭30卒)引野光夫**

父の23回忌のため、欠席いたします。

**高6(昭30卒)森岡敏眞**

総会の案内をいただき、毎度のことですが感心しております。あれだけの行事をこなされる役員の皆様、有難うございます。人が集まるのは流石大阪だなあと感心いたします。

**高6(昭30卒)石原綾子**

10月4日の歴史ウォーキングで堺にお出で頂き、ありがとうございました。総会には都合をつけて優先で参加させていただきますのでよろしくお願い申し上げます。

**高6(昭30卒)島田和子**

いつも何かとお世話になるばかりで申し訳ありません。(2011年に心臓手術をして以来、静かに生活しております。)

**高7(昭31卒)青戸俊夫**

出席の予定でしたが、当日やむをえぬ行事が生じ、残念ですが欠席せざるをえなくなりました。申し訳ありません。盛会を祈ります。

**高7(昭31卒)高井和彦**

地域活動、老々介護で忙しくしています。連絡が遅くなり申し訳ありません。ご盛会を祈ります。

**高7(昭31卒)玉井洋子**

なかうみ交響楽団(9月)の定期演奏会、島根第九コンサート(12月)出演のため、年2回は定期的に帰松いたしております。

**高7(昭31卒)葎仲ヒロ子**

お手数をかけて有難うございます。よい双松会

になりますようお祈りいたします。

**高8(昭32卒)山崎泉**

65歳から神戸家裁家事調停委員の勉強会を主宰して11年2ヶ月(134回)、なお継続中。

**高9(昭33卒)伴稔也**

松江高校9期「喜寿」同窓会が10月21日、松江で開催され、出席しました。百十名を越す参加で、地元幹事団のすばらしいおもてなしと相俟って、大いに盛り上がり、楽しいひとときを過ごしました。

**高9(昭33卒)安部裕子**

毎年ご案内いただき有難うございます。年を重ね、現在体育協会所属の協会や連盟の事や、地域で高齢者クラブのお世話等、行事が重なり申し訳ありません。ご盛会をお祈りいたします。

**高9(昭33卒)片岡扶美子**

8月から娘が入院、娘婿は単身赴任、今だ現役76歳の私、ワンパク坊主(小3・中1)を世話する毎日。働く40代女性と同じ日々を送っています。

自分の趣味の卓球もしつつ、健康には自信がありますが、シルバーウィークを目前にして、そろそろバテそうな・・・

**高9(昭33卒)佐々木悦子**

お世話になります。

**高9(昭33卒)清水良子**

いつもお世話になります。

**高10(昭34卒)天野正彦**

幹事の皆様には感謝します。ご盛会を祈ります。年を重ねて少しづつ体力が弱るのが判る此の頃です。活躍中の皆様には益々のご健勝を祈ります。

犬の散歩、読書、版画彫り、ドライブと体力を使わず楽しんでます。世の中もいろいろあって驚きながら傍観しています。

## 会員近況報告

### 高10(昭34卒)面白紘

昨年は西国街道の一部(兵庫・西宮神社～京都・東寺)を数回に分けて歩き、今年は東海道57次の京街道(大阪・高麗橋～滋賀・大津)の踏破に取り組んでいる。(10月、牧野に到着)

### 高10(昭34卒)佐和田丸

(1)北陸新幹線乗車をかねて佐度へ行ってきました。大阪から金沢→上越→直江津→佐度小木港。富山付近の立山が白く輝き印象的。佐度では佐度金銀山を楽しく見学しました。石見銀山を観た後、佐度金銀山も見たいと思っていました。ガイドさんの話では北前船で石見銀山から多くの指導・協力者がきて、地域全体が石見姓のところがあることには驚きました。泊りは佐和田(さわた)温泉。読みはちがうが、漢字は私の姓と同じで、しばしオーナー気分で大きな風呂の入浴を楽しみました。

(2)世界文化遺産・国宝、白すぎ城いや白鷺城・姫路城へ行ってきました。平成27年3月27日、補修を終えグランドオープン。補修後まもなくで、白すぎ城になったと揶揄されるのもむべなるかなと思いました。城内は急階段の連続で足腰の弱っている私には苦痛でした。国宝の城といえば、松江城が国宝に指定されたことはご同慶のいたりです。

(3)飯南町頓原JAエルシーから望む島根県民の森「大万木山」。山容は寝仏に見える。山に向かって合掌すれば、われらの願い、ピンピンコロリと極楽往生できるかも。一度お試しあれ。

(4)飯南町の大しめ縄創作館制作のしめ縄が、海上自衛隊所属の「護衛艦いずも」にも飾られ、世界の海を旅しているそうです。中国山地で作られたしめ縄が、遠く世界中を回るとは、大層嬉しく喜ばしいことですね。グローバル時代の到来です。

(5)五郎丸ポーズが人気です。小生も佐和田丸ポーズを考えてもよいかと思っています。よいポーズがあれば教えてください。

(6)3人の子供、6人の孫が時々来てくれるのが楽しみです。それぞれ個性豊かで、元気が貰えそうです。

(7)個人的に縁談話を頼まれています。ご協力ください。自薦他薦不問。①本人、1979年生男性、大学院専修科卒、茨木市内神社跡取、結婚後別居。

②本人、1965年生男性、阪大薬卒薬剤師、現在松江市内の薬局勤務、土地家屋調査士。③本人、1972年生女性、岡山大経卒、ライター、関西在住者希望。

(8)HPを更新しました。

<http://simane.do47.net/kadoya.html>

### 高10(昭34卒)清水義男

元気でやっております。ご盛会をお祈りいたします。

### 高10(昭34卒)須山耕

老々介護の毎日。

### 高10(昭34卒)清水小枝子

元気にしております。都合で欠席いたしますが、会報で様子を拝読するのを楽しみにしています。

今年は松江の親戚の仏事で数回帰松しました。タクシーの運転手さんが「お城が国宝になり、観光客が2倍以上になりました」と話されたのが印象的でした。

### 高11(昭35卒)小久江良雄

元気で毎日を送っています。

### 高11(昭35卒)神門英明

今年は大学時代の有志同窓会の世話役を引き受けたので、松江での11期同窓会も欠席です。

### 高11(昭35卒)高本紘史(松江市在住)

毎回ご案内いただき、有難うございます。松江での生活が12年にもなると、当地での行事予定が中心になり、なかなか参加できずしております。

10月には11期の同窓会、12月は大阪での有志の懇親会等々、バタバタしていますが、いつも元気にとびはねています。

押田氏にはいつもお世話になり感謝しています。

### 高11(昭35卒)畑田稔

残念ながら、今回欠席とさせていただきます。(法事で当日は松江へ帰っています。)

**高 11 (昭 35 卒) 安部光子**

お世話頂き、大変ありがとうございました。

**高 11 (昭 35 卒) 今井洋子**

10月17日、松高11期卒業55周年記念同窓会に出席のため、松江に行ってきました。国宝松江城にも久しぶりに。

**高 11 (昭 35 卒) 中川陽子**

元気にしていますが、年齢相応に眼科、歯科、内科と痛院も多くなりつつあります。

**高 11 (昭 35 卒) 森田方子**

ご案内頂き、ありがとうございます。いつも欠席しましてすみません。

**高 12 (昭 36 卒) 平塚善明**

年初より余り身体の調子が良くなく、入退院を繰り返しています。皆様に宜しく！

**高 12 (昭 36 卒) 山本輝夫**

昨夜(10/11)、アイバンクミュージカル「パパからもらった宝物」を献眼登録で招待鑑賞。パンフに、演出：青砥 洋と見覚えのある名前が。念の為、プロフィールを確認、「1942年松江市生まれ」と。そうだよ、同期の青砥君だった。劇団BDP (Big Dream Play)・児童劇団「大きな夢」代表と。感動と興奮の2時間はアツという間。

見える事に限らず、これまで当たり前と思っていた事(物)が失って初めて、その有難さが分かる・・・悲しみと喜びのドラマの温もりのある演出に、涙なしでは、とてもとても。

あらためて献眼の意義に納得し、次は三男の英国からの一時帰国時に献体登録することを誇らしく思いつつ家路に。

氏の益々のご活躍を祈念し、同期として大変誇らしく、癒され、ほっこり気分の秋の夜長でした。だんだん。

**高 13 (昭 37 卒) 芦田昭充 (東京双松会会長)**

お誘いいただきましたが、当日は、他に予定が入っており、残念ながら欠席させていただきます。

ご盛会をお祈りします。

**高 13 (昭 37 卒) 今井勝治**

元気に71才。

**高 13 (昭 37 卒) 遠藤紀代子**

"健康だけがとりえの人生(72才)"

**高 13 (昭 37 卒) 河村容子**

いつもご案内を頂いて有難うございます。今年には体調が悪く、出かけるのを控えています。会のご盛況をお祈り申し上げます。

**高 13 (昭 37 卒) 村田雅子**

お世話くださりまして有難うございます。

**高 13 (昭 37 卒) 山下俱子**

まだ、仕事を続けています。

**高 14 (昭 38 卒) 内田一三夫**

当日、予定が入っていますので失礼します。

**高 14 (昭 38 卒) 加藤巡一**

ボランティアで阪急六甲の近くに「実験広場」を開いています。子どもたちにスマホより面白いものがある事を一人でも多く伝えたいと思っています。

URL <http://jikkenhiroba.webcrow.jp//>

**高 14 (昭 38 卒) 木村修芳**

6月に母を95歳でなくし、松江に従弟ぐらいしか親類がいなくなりました。

**高 14 (昭 38 卒) 小泉勝是**

あつという間に古稀を迎えましたが、これで引退はないぞと、ささやかな社会貢献にチャレンジを始めたこの頃です。

**高 14 (昭 38 卒) 小松三樹**

地区の老人会カラオケクラブで歌っています。

## 会員近況報告

### 高14(昭38卒)木幡晃正

いつもお世話になり、有難うございます。

### 高14(昭38卒)富永寿郎

最近、一人では歩くことが困難な状況です。従って今回、申し訳ありませんが欠席させていただきます。皆様によろしくお伝え下さい。

### 高14(昭38卒)大國典子

今のところ、元気で国内外の旅行で楽しんでいます。

### 高14(昭38卒)佐谷絹子

松江城が国宝になり、松江の方々のご努力に感謝しております。松江も住んでいた頃より美しい街となり嬉しく思っています。

今は、寺に囲まれた奈良の地に住んでいます。ご連絡ありがとうございます。

### 高14(昭38卒)佐藤美代子

仕事をやめ、夢だった海外旅行に邁進中。因みに10/31～11/10までマダガスカルに、1月はベトナム、カンボジアに行きます。

### 高15(昭39卒)安達和彦

生憎、外せぬ件と重なってしまいました。

### 高15(昭39卒)真庭 功

当日は他の行事が入っておりますので、欠席いたします。和やかな会合でありますよう祈っております。

### 高16(昭40卒)清原正義

近畿双松会の皆様にはご無沙汰しております。兵庫県立大学の学長をしています。よく松江に帰っています。

### 高16(昭40卒)長谷川賢治

相変わらず、週一回畑とハングル教室に行っています。

### 高16(昭40卒)松本耕司

ウソだろうと思いつつも古稀と呼ばれる年代に入り、6年間応援してきた心肺蘇生のNPOの事務局長を、大阪マラソン5年連続心臓突然死ゼロの実現を区切りに退きました。余生?はやはり故郷を大事にしていきたいと思っています。

### 高16(昭40卒)三成宏二

元気で孫の園送りをしています。

### 高16(昭40卒)三吉 孜

総会日は生憎、安来一中の古稀記念同窓会があり、出席のため帰省しています。

私事ですが、今年を「チェンジの年」と位置付けて惰性に流されないよう取組んでいます。来年の総会には出席したいと思っています。

### 高16(昭40卒)石川 莚子

この一年は健康が戻り、元気に過ごしています。

### 高16(昭40卒)伊藤育子

今回も日程の都合がつかず、失礼させていただきます。皆様によろしく。

### 高17(昭41卒)浅津民夫

なんとか、まだ働かせてもらっております。

### 高17(昭41卒)永井貞泰

17期幹事、岡君へ。折角ご案内を頂きながら欠席で申し訳ありません。

### 高17(昭41卒)中山 公

毎早朝のジョギングと夜のビールは欠かさず。元気です。ご連絡有難うございます。

### 高17(昭41卒)西野やよい

晴耕雨読の日々を送っています。

### 高17(昭41卒)福島瑞枝

松江にUターンしました。大変長い間お世話になりました。今後のご発展を心からお祈り申し上げます。

**高18(昭42卒)小笹誠治**

広瀬での生活に根がはえつつあります。神戸でのつき合いもありますが、今後、松江での会合に出たいと思います。何かとっかかりなどあるか、ご教示を願います。

**高19(昭43卒)新見泰朗**

昨(2014)年8月、自衛隊援護協会を退職し、今年1月から大阪防衛協会事務局(淀屋橋)で月・水・金の週3回、仕事をしています。

**高19(昭43卒)横原 隆**

リタイヤ後、年金生活を送っております。楽しみは旅行、テニスです。総会に参加できず申し訳ありません。

**高19(昭43卒)元栄 徹**

田舎(安来)と大阪を行き来しています。最近では田舎暮らしの方が多くなりつつあります。

**高19(昭43卒)池田喜美代**

昨(2014)年6月、突然左目の視界が歪み、すぐに病院にかかり、以降定期的に通院治療中です。

そのことから、長い間関わってきた編集の仕事も、引き継いでくださる40代の方が見つかり、今年7月にバトンタッチしました。今はゆっくりと主婦業です。

**高20(昭44卒)小敷賀健二**

松江一中で同じ庭球部だった三好副会長からの伝言をいただきましたので、町内清掃を断って出席させていただきます。

幹事の皆様、大変ご苦労さまです。

**高20(昭44卒)金見幸夫**

申し訳ありません。今年は出席したかったのですが、11/29~30と館長をしている城陽市東部コミュニティセンターの運営委員会：宿泊視察研修が入っており、欠席させていただきます。

11/21の20期同窓会には松江に帰る予定です。渡辺副会長、三好副会長、物種監事、山寄常任幹事にはよろしくお伝え願います。

覚えていてくれるのかな・・・？ 清水教育長！

**高20(昭44卒)原田康二**

会社で顧問として働いております。

**高20(昭44卒)川端洋子**

昨年退職し、気兼ねなく旅行に行けるようになりました。身近では島根出身の方には滅多に会いません。少し前までは出身県を聞かれると知名度が低くて困りました。

**高20(昭44卒)平田まり**

いつもご連絡をいただきながら、ご無沙汰してすみません。今年も仕事で出勤せねばならず欠席させていただきます。来年3月に退職しますので来年は出席するつもりです。ご盛会をお祈りします。

**高20(昭44卒)山崎麻里子**

5年ぐらい前に初めて近畿双松会に出席しました。初めてのときはハードルが高かったのですが、出席してみると楽しく、あれよあれよという間にどっぷりつかり、今や常任幹事です。

もし、近畿双松会に参加しようか迷っていらっしゃる方がありましたら、一度のぞいてみませんか？ お待ちしています。

**高21(昭45卒)花田幸久**

2年間の海外勤務(香港・中国)を終了。会社生活を終了し自由をget、収入はloss？

**高22(昭46卒)石川 章**

週4日、働いています。

**高22(昭46卒)岩田邦雄**

今、四国に単身赴任中でして、当日は大阪に帰れそうにありません。皆様によろしくお伝えください。

**高22(昭46卒)木下 孝**

兵庫県高砂市の中学校長をH25.3に退職し、現在、高砂市教育委員会に週4日勤務(嘱託)しています。

## 会員近況報告

### 高22(昭46卒)村田 貢

8月9日に松江のホテル一畑で「八方除け」の同窓会をしました。数えの64歳です。いい歳になったものです。同級生の神主にお祓いをしてもらいました。

### 高22(昭46卒)大浦綾子

いつもお世話になり、有難うございます。皆様にお会いできるのを楽しみにしております。

### 高22(昭46卒)西村紀子

秋も深くなりました。卒業してから40年近くになりますが、ますます松江の素晴らしさを感じております。最近は趣味に、そして旅行といそがしい日々を送っております。次回お目にかかれるのを楽しみにしております。

### 高24(昭48卒)小川ひとみ

同じ加西市内に北高の先輩がおられたり、春までしていた仕事仲間のお父様(明石)が先輩であったりと、身近なところで北高卒の方がいらっしやると、とても嬉しく思います。

### 高26・理5(昭50卒)泉 雄二郎(松江北高校校長)

ご準備等、大変お世話になっております。次年(2016)度140周年に向け動き出す年です。近畿双松会の皆様には一層に同窓会を引っ張っていただきたくお願い申し上げます。

### 高26(昭50卒)福富由美子

いつもご案内いただき有難うございます。なかなか都合がつかず欠席ばかりで申し訳ありません。塾の講師と英語の観光ガイドをしています。

### 高27(昭51卒)三浦 清

当日は既に予定が入っており出席出来ません。申し訳ありません。皆様に宜しくお伝え下さい。

### 高27(昭51卒)三木真理

昨年から主人の仕事を手伝いはじめ、30年ぶりの家事以外の仕事にあくせくしています。

### 高28(昭52卒)今藤美富

毎日、元気にのんびり暮しています。

### 高29(昭53卒)太田春樹

結婚式出席のため、欠席いたします。皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

### 高29(昭53卒)加藤正樹

2年前に転勤で当地にやってきました。

### 高29(昭53卒)達山 暢

転職し、近畿エリアとは縁遠くなりましたが、年末の近畿双松会と甲子園ボウルが楽しみです。幹事の皆様、いつも有難うございます。

### 高51(平12卒)荒井悦加(境港市在住)

(2007年世界陸上大阪大会、3000m障害日本代表)

10/9に長女を出産いたしました。初めての子育てにこれまでとは違う幸せを感じる日々です。落ち着いたらのんびりジョギングを再開したいと思っています。

### 高52(平13卒)岡田紫乃

大阪大学歯学部卒業後、歯科医師として病院勤務をしております。来(2016)年、大阪市内にて開業を予定しております。

### 高64(平25卒)槇原尚樹

関西大学在学中。

### 高66(平27卒)大北祥之

高野山大学に進学。実家がお寺なので、高野山内の寺院にて修行中です。

### 高66(平27卒)高木あゆみ

京都女子大学文学部国文学科1回生です。



船舶、車両はイメージです

鉄道車両用、船舶用、電気部品の製作



株式会社  
トヨーコーポレーション  
TOYO & ENGINEERING CORP.

高7期(昭和31年卒) 山本雅昭

本社/〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目21番35号

TEL : 06-6443-2061 FAX : 06-64439736

豊中工場 / 東京支店

<http://www.toyocorp.co.jp>

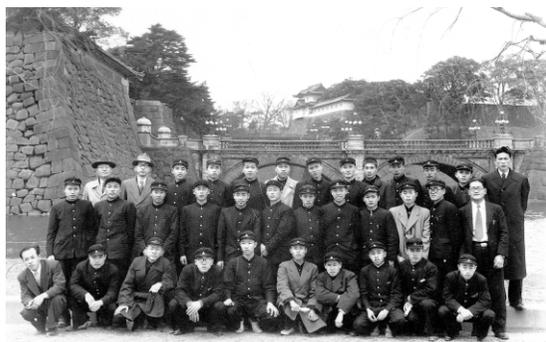
## 「修学旅行」1954(昭和29)年

森岡敏眞(6)

一学年が12学級(当時は45名が1クラス)あった為、東京組と九州組とに分かれての修学旅行であった。私は東京組を希望した。

長い連結の蒸気機関車、トンネルに入ると鼻の穴は黒く煤ける列車の旅であった。

1954(昭和29)年3月1日、列車内で誰が聞いたのか、アメリカがビキニ環礁で水爆実験を強行し、日本の第五福竜丸漁船の船員23名が被曝に会ったと聞いた。(久保山愛吉無線長は9月に死亡)



二重橋

そんな中を私達は東京へと長い旅を続けるのであった。東京に着くとお決まりは二重橋、国会議事堂とバスに分乗して回るのだ。今は迎賓館となって入れないが、聖徳記念館だったか、国会図書館だったか忘れてしまったが、立派な建物の中に入った。どこへ行ってもその前に集合しては、記念写真を撮ったものだ。



国会議事堂にて、(左)筆者、(中央)同期の田村稔久氏

翌日には日光東照宮陽明門や三猿(見猿、言わ猿、聞か猿)の立派な彫刻、華厳の滝等、相当離れてい

たと思うが、男体山をバックに中禅寺湖前での記念写真。それ等の事が私の頭からスッポリ抜けて忘



男体山をバックに中禅寺湖前で

却の彼方へ。健忘症なら良いが、認知症の始まりなら困ったものだ。「忘却とは忘れ去る事なり」、当時ラジオドラマの始まりのナレーションを思い出す。それからが又強行軍。江の電で江の島へ。

そして、バックしたのか、行きだったのかこれも記憶から薄れてしまったが、鶴岡八幡宮で石段に並んでの写真。(その写真が不明)



鎌倉大仏

夜には東京に帰り、旅館の風呂では入りきれないので、町の銭湯へ。小グループずつで入りに行った。風呂代はそれぞれでの支払い。うかつにも、私は人よりも少ない小遣いを落としてしまい、土産を買う金すら無くしてしまい、事情を他の生徒に話して何人かの募金によって救われた。「持つべきものは友」と本当に有難かった。

夜の自由行動の時間は長かった。流石は高校生だと嬉しかった。コッソリ抜け出して行く先は浅

草だ。それもストリップ劇場。学生服なのによくぞ入れてくれたものだ。やはり気恥ずかしい思いもあって2階の奥の方からの見物となったが、目の前にも松高の生徒が数人居るではないか。大きな声は出せないのでついヒソヒソと囁き合った。「内緒だぜ。人には言うなよ。」と。好奇心一杯の高校生時代の思い出…。

東京大空襲であれ程の焼け野が原が10年も経たぬうちに、これ程までに復興する日本人の力にはびっくりさせられた。それでも街を歩いていると小さい子ども(シューシャインボーイや駐留軍兵士相手の花売り娘)達が目につく時代だった。

旅館に帰ると布団がびっしりとならべてあり、服やズボンを脱ぐなり布団へともぐり込んだ。後は朝までぐっすり。

帰りは京都、大阪を回ったが、余り記憶に残っていない。二条城前に止めたバスの前で写真を撮って京阪バスがこんなに大きかったのかとびっくり。ただ一つ、京都では古い日本建築の部屋へ通され、舞妓さん二人を中心に記念写真を撮ったのが、強烈な印象となって脳裡に刻み込まれている。



二条城前に止めたバスの前で

以上、団体写真を見て、ポツンポツンと思い出すまゝに記述してみました。

最近の高校生は飛行機での旅行や、海外では現地でのホームスティなどと楽しい話題を沢山聞く。どうぞ、事故のない楽しい思い出深い修学旅行がいつまでも続いていく平和な日本、平和な世界であつ



京都にて舞妓さんと

て欲しいと願いながら、終わりとしたいと思います。拙い文で読み辛い事でしょうがご勘弁願います。

#### 『追記』

この前の近畿双松会懇親会でなつかしい会話がありましたので追記します。

随分昔の同期会で、思わず「ストリップ劇場」の話題になり、今で言う熟女たちばかりで入場して、男性たちが興味を持つのも理解できて大変社会勉強になった、と聞いたことがあります。時を経て、50歳代を過ぎてから、またその話になって再び同じメンバーで出かけ、時代の変化の勉強をしたとも聞きました。考えてみれば熟女たちも大変勇気のいったことと思います。

今や、女性が行けないところは殆どない時代となり、男性の肩身も狭くなった感じで、今昔の感もありますが、思わずもこの昔話に花が咲き、印象深い楽しい懇親会になりました。



(左)筆者、(右)田村稔久氏

## “赤レンガ”と私

佐和田 丸(10)

初筆：1973(昭和48)年10月

加筆：2015(平成27)年11月



“赤レンガ”——。それは伝統の権威を誇るかのように、美しい高塔を持った旧大阪裁判所の勇姿に対する、浪速っ子たちと、ここに奉職した、あるいは現にしつつある人々の心からなる愛称である。光陰矢の如し、とはよく言ったもので私もこの“赤レンガ”に職を奉ずるようになってから、早くも十年近い星霜が流れた。美しい高塔、緋色のレンガが、周囲の樹木とうまく調和して、まことに良い雰囲気醸し出している。ちょうど、一幅の絵画を観るようである。とりわけ、雨の日の“赤レンガ”は素晴らしくいい。翠樹のみどりは一層鮮やかに、雨に濡れた赤レンガは得も言われぬ色を呈する。そして画竜点睛するかのように、高塔の白緑色のドームが、天高く映えるのである。私は、雨に洗われた“赤レンガ”には喩えようもなく魅せられる。



水の都・大阪——。その万緑したたる中の島の一角にこの“赤レンガ”が呱呱の声を上げたのはいつの事であろうか。朝日新聞社編「大阪・いまとむかし」を繙くと、次のようなくだりがある。

1873(明治6)年、大阪・中の島一丁目に大阪裁判所(現地裁)、1875(明治8)年、西道頓堀一丁目に大阪上等裁判所(後の控訴院、現高裁)が開庁、1890(明治23)年になって、現在の北区若松町に合同庁舎ができた。控訴院長、裁判所長らが馬にまたがって出勤した。二度の火災のあと、1916(大正5)年5

月、今の赤レンガの建物が完成、近郊から“人民”が弁当持ちで見学に来た。

中の島公会堂と堂島川を挟んで影を落とすルネッサンス風の三階建。詩情豊かなその容姿は、法のきびしさをよそに“赤レンガ”の愛称で浪花っ子に親しまれ、よく画題にもなってきた。この辺りは、パリのシテ島とよく対比される。私もパリ旅行したとき、目をこらして見たが、確かに似ているところがあった。だが、地上四十メートルの美しい高塔も「法の権威を示すために、とくにくつつけたんです」と元大阪地裁所長のH弁護士の話だ。戦前は正面に菊の紋章が輝いて通行人が最敬礼して通ったという。

現在の若松町に移転したのは、1890(明治23)年であるから、大阪裁判所発祥の記念すべき地は、大阪・中の島1丁目になる。これは今のどこかと調べてみると、現裁判所から堂島川を隔てたところに大阪市役所があるが、それが探し求める発祥の地のようである。同市役所前の植樹帯の中に、正面に「明治天皇聖跡」南側に「大阪裁判所址」と録した碑があるが、これが他ならぬ、我が大阪裁判所発祥の地であることを示す記念碑なのである。1873(明治6)年1月はじめ、ここに裁判所が設置せられ、明治天皇も行幸されたという。1874(明治7)年4月には懲役場が設けられたこともあり、当時「中の島の牢」とも呼ばれ、その北寄りには断頭台もあったといわれる。当時のこの辺りは寂寥とした物寂しいところであったようである。

ことついでに、大阪裁判所が、1873(明治6)年開庁された時の達しを、ご参考までに摘記しておく、「北区誌」によれば、

今般大阪へ更に裁判所被置候に付、従来同府庁にて取扱来り候聴訴断獄之事務、総て裁判所へ引受け致裁判候条、左之通相心得可申事。

一、裁判所は当分中之島一丁目へ取設、来る十八日より同所に於て事務取扱候事  
一、毎日午前九時より十二時迄に訴状差出可申事  
一、原告被告人共差添人添可能出事  
以上之外御布告に相悖り候者ハ、裁判に不及候事、とある。

なお、全国の裁判所庁舎の中で、大阪裁判所は、塔を持った稀有なものと言われるが、大阪裁判所に殊更に塔をつけられた理由も、前掲の「大阪・いまとむかし」の一節の中に、その答えを見出すことができそうである。



閑話休題——。

三島由紀夫が、ドラマテックな自裁を遂げたのは、まだわれわれの記憶に新しいが、かれのライフワークであり、絶筆ともなった小説に「豊穡の海」がある。「春の雪」「奔馬」「暁の寺」それに「天人五衰」の四巻からなるが、この第二巻「奔馬」の冒頭は、奇しくもこの“赤レンガ”がその舞台となっている。

三島由紀夫は、ここを舞台に描くに際し、厳父の友人の裁判所関係者を動かして、ここを訪ね、裁判所の内外を見学し、かつまた判事の生活を詳しく聞いたようである。次の一文は、「奔馬」が上梓されたのち、その裁判所関係者が、裁判所に寄贈した同書の巻末に記された添書であるが、三島氏の取材の様子が窺われるような気がして、まことに興味深いものがある。

三島由紀夫君(平岡公威君)は、私の一高同級の友・平岡梓君の長男です。ある小説を書くのだが、フィクションの主人公が、1932(昭和7)年頃、大阪控訴院判事だったことにするので、当時の同控訴院のことを知りたいとて訪ねてきました。それで、同

控訴院の建物のことなどを話しましたが、そのときの△△高裁長官を訪ね、取材せられるようご紹介したところ、同氏から参考になる昔話を伺ったり、大層便宜を与えられたと喜んで居りました。その小説は「新潮」誌上に「奔馬」と題し、1967(昭和42)年2月号から1968(昭和43)年8月号まで連載され、その冒頭1, 2, 3に当時の大阪控訴院の偲ばれることが出てきます。最近、それが単行本となりましたので、今の大阪高等裁判所の諸賢にもご興味あるうかと存じ、一本を求めお贈り致します。

1969(昭和44)年3月

元大阪高裁長官 ○○○○

大阪高等裁判所 御中

“赤レンガ”の愛称で、浪花っ子等に親しまれてきた、ルネッサンス風の裁判所の内外で取材する、在りし日の三島氏が目に浮かぶようである。そして、「奔馬」の裁判所に触れただりを読む時ほど、三島氏を身近に感ずるときはない。と同時に、今更言うまでもないことだが、その描写的的確さに、改めて畏敬の念を強くするのである。

判事にとって、風呂敷に包んだ事件記録は、仕事の生命であり、汽車に乗っても決して網棚にのせないのが心得であること。裁判所帰りに酒を呑む時などは風呂敷の結び目にひもをとおして、そのひもを首にかけておくのが常であることなど、当時の判事の生活のようすが描がかれている。

今は、大阪市都島区へ移転したが、裁判所裏にあった大阪拘置所の描写もよくなされている。拘置所の配置状態。処刑の音。むかしここで処刑が行われていた。今、この拘置所跡へ、裁判所の新庁舎が工事中であり近く完成をみる。

圧巻は、“赤レンガ”の高塔の内部の描写である。日本の心を謳う浪漫主義——。そのロマンチズムあふれる筆で、内部のここかしこが、余すところなく浮き彫りにされている。

私は、「奔馬」を読み終えた後、仕事の都合で高塔へ行く機会を得たとき、ひとりこの高塔内を徘徊し、今は亡き三島氏のあとを辿ったのであるが、高名な作家の目の鋭さに改めて襟を正されるような思いに駆られたことであつた。高さ40mの高塔の頂上からは、晴れた日には遠く淡路島が望まれた、との一節があるが、単なる小説家の想像ではなく、真実

## 自由投稿 「赤レンガ」と私

だったかもしれない。なお、この“赤レンガ”は、あと数か月を出でずして、永遠に消え去る運命にある。高塔内部の様子は、今後は、ゆくりなくも三島氏の「奔馬」により偲ばれることになった。

さもあらばあれ、“赤レンガ”は60年近い歳月を開けて、その光輝ある歴史を閉じる。それは、あたかも、私共の定年に極似して微苦笑を禁じ得ないものがある。数年前までは、「大阪名物のひとつだから・・・」と存置を求める、郷愁派の声もあったように仄聞しているが、先々代や先代のように火災にも遭わず、無事安泰に一生を貫き通せた“赤レンガ”はもって瞑すべしというべきであろう。あるいはまた、実に半世紀以上の長きにわたり、四方の眺望をほしいままにしてきた“赤レンガ”は周囲の名残を惜しむ一部の声をよそにひとり超然として世を去っていくのかもしれない。

前述のように、“赤レンガ”は間もなく鬼籍に入り、永遠に地上からその勇姿を消すが、あの美しい高塔が崩壊する歴史的瞬間に思いを致すとき、なんとなく、嵯峨天皇の漢詩「花宴」の中の二節が思い浮かんでくる。

紅英(コウエイ) 落處鶯亂鳴

紫萼(シヤク) 散時蝶群驚

紅英は紅花のことと思われ、その花びらが落ちると鶯が乱れ鳴き、紫の萼(うてな・台)が散ると蝶が群れ驚く情景を詠んでいるが、私はといえば、まるで私とその鶯や蝶の気持ちと一緒にいることに気づくのである。

さらば、郷愁の“赤レンガ”

さらば、情熱の“赤レンガ”

今の私は、心からの慰労と感謝の言葉を捧げて永久の別れを告げたいと思う。

◇

1916(大正5)年に完成した“赤レンガ”は、1974(昭和49)年1月に新しい裁判所合同庁舎が完成し、その役目を終えました。本稿は、裁判所・法務省・検察庁職員の親睦団体・法曹会の機関紙「法曹」1973(昭和48)年10月号に投稿したものに若干加筆補訂したものです。



●大阪控訴院【設計：司法省直営(山下啓次郎・横浜勉)、竣工：大正5年、所在地：大阪若松町】

堂島川に悠然と聳え立つ大阪控訴院。中央のすっきりした尖塔も、水平に横長いスパンも、共に見晴らしの良い川面に良く映え、長く大阪市民のランドマークであったことが偲べれます。設計者の山下は司法省営繕のエキスパート。裁判所のみならず、全国の監獄も手掛けた建築家でございます。現存するのは旧奈良監獄(現奈良刑務所)、旧千葉監獄(現千葉刑務所)等ですが、ジャズピアニストの山下洋輔の祖父であったことでも知られております。

ところで、この大阪控訴院の跡地には、大阪高等地方簡易裁判所が素気無く建っております。裁判所と堂島川を挟んで、大阪市公会堂【設計：岡田信一郎、竣工：大正7年】が今も健在であります。こちらは近年耐震工事を兼ねてお色直しされ、大阪府立中之島図書館や日本銀行大阪支店と共に中之島の風格を保っております。

WEBサイト「近代建築遊歩～絵葉書に見る或日の都市景～」から転載



## 近畿双松会報

2015（平成27）年度版 通巻57号

発効日／平成28年3月31日

編集兼発行者／近畿双松会

発行所／近畿双松会事務局

所在地／〒550-0002

大阪市西区江戸堀1-21-35

㈱トーヨーコーポレーション内

TEL 06-6443-2062

FAX 06-6443-9736

郵便振替口座／00910-0-103665

近畿双松会